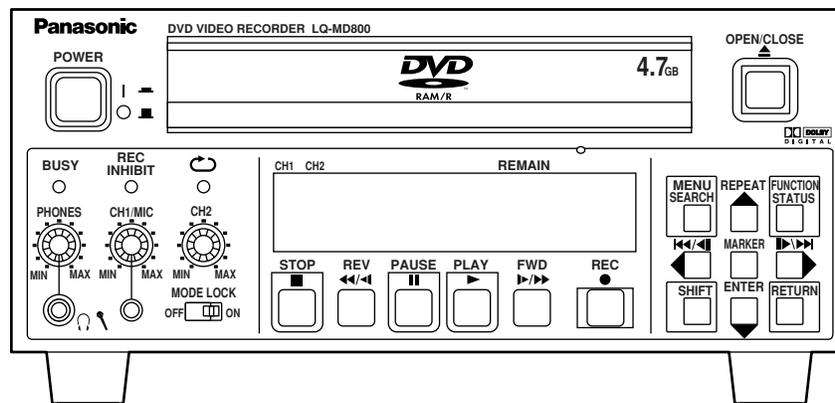


取扱説明書

DVDビデオレコーダー

品番 LQ-MD800



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	3
特徴	7
付属品	7
各部の名称と機能	8
• フロントパネル	8
• 表示パネル	9
• リアパネル	10
本機で使用できるディスク	11
接続と設定	12
プログラムの録画	16
ディスクの再生	18
• 停止した位置から再生 (レジューム機能)	18
• 早送り、巻き戻し再生	18
• スロー再生	18
• コマ送り再生	18
• プログラムの頭出し (スキップ)	18
• 5分飛ばして再生 (タイムスリップ)	19
• インスタントリピート再生 (Instant Repeat)	19
• マークした位置からの再生 (MARKER)	19
ステータス表示 (STATUS)	20
ファンクションメニュー (FUNCTION)	21
• ファンクションメニューを使うには	21
• ディスクメニュー (Disc)	21
• 再生メニュー (Play)	22
• 音声メニュー (Sound)	22
• 映像メニュー (Picture)	22
メニュー画面 (MENU)	23
• メニュー画面を使うには	23
ディスク管理 (DISC INFORMATION)	24
• タイトルの入力 (Enter Title)	24
• ディスクプロテクト (Disc Protection)	24
• すべてのプログラムの削除 (Erase all programs)	25
• フォーマット (Format)	25
• ファイナライズ (Finalize)	26
サーチプログラム画面 (SEARCH PROGRAM)	27
• プログラムを選択して再生	27
• プログラムリスト	27
• プログラムの消去 (Erase)	28
• タイトルの入力・修正 (Enter Title)	28
• プログラムの内容確認 (Properties)	28
• プログラムのプロテクト設定・解除 (Protection)	28
• プログラムの部分消去 (Partial Erase)	29
• プログラムの分割 (Divide)	30

プレイリストの編集 (PLAY LIST)	31
• プレイリスト表示 (PLAY LIST)	31
• プレイリストの新規作成 (CREATE PLAY LIST)	31
• プレイリストの再生	32
• シーンの再生 (Play Scenes)	32
• シーンの追加 (Add)	32
• シーンの移動 (Move)	33
• シーンの再編集 (Re-edit)	33
• シーンの消去 (Erase)	33
• プレイリストのコピー (PL Copy)	34
• プレイリストの消去 (PL Erase)	34
• プレイリストのタイトル入力 (Enter Title)	34
• プレイリストの内容確認 (Properties)	34
文字の入力	35
初期設定の変更 (SETUP)	36
• 操作方法	36
• 設定項目	36
お手入れ・ディスクの取り扱い	39
• お手入れ	39
• ディスクの取り扱い	39
用語解説	40
エラー表示	41
故障かな?	42
コネクター信号	45
著作権について	45
保証とアフターサービス	46
定格	47
別売品 (推奨品)	47

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を区分して、説明しています。



気をつけていただく内容です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

設置・運搬について

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V～240 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

警告

使用方法について

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

電源コード・プラグが破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造をしない



内部に電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

分解禁止

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

指定のカバー以外は外さない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

異常時の処理について

異常があったときは、電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音などが出たとき



そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

電源プラグ
を抜く

- 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- 販売店に相談してください。

安全上のご注意 (つづき)

警告

お手入れについて

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

乾電池・バッテリーについて

ボタン電池は誤った使い方をしない

- ⊕ と ⊖ は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ネックレスなどの金属物と一緒にしない



取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺破損の原因になることがあります。

注意

設置について

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

本機の放熱を妨げない

- 押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください
- 通風孔やファンは、ふさがないようにしてください
- 横倒し、逆さまにしないでください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

使用方法について

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

トレイの上に物を置かない



内部が破損する恐れがあります。

DVDドライブの内部をのぞきこまない



内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

コードを接続した状態で移動しない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。

ディスク挿入口と、カートリッジに手をはさまれないよう注意する



指に注意

けがをする恐れがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

火災や感電の原因になります。

お手入れについて

お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く



電源プラグを抜く

火災や感電の原因になります。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする



本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になります。

本装置はレーザー利用機器です。

ご注意：ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。分解や修理は行なわないでください。

クラス 1
レーザー製品

特徴

本機はコンパクトで丈夫なDVD-RAM/Rディスクを用いた動画デジタルレコーダーで、高画質・高音質の映像・音声記録と、従来のテープにない簡単操作と高検索性を実現しています。

■ 高画質・高音質記録

- “Hybrid VBR”方式のMPEG2エンコーダにより、高画質の映像を記録できます。
- ドルビーデジタル方式により高音質の音声を記録できます。さらにXPまたはSPモードで録画するときは、より高音質のリニアPCM (2チャンネル)方式を使うことができます。

■ 最大8時間の録画

9.4 GBの両面DVD-RAMディスクを使用すると、1枚に最大8時間の録画が可能です。(連続録画は最大4時間です。)

■ プログレッシブ出力 (13ページ参照)

プログレッシブ信号に対応したモニターテレビに接続すると、さらに高画質の映像を見ることができます。

■ 外部コントロール機能を搭載 (14ページ参照)

本機には標準で3種類 (USB、RS-232C、PAUSE REMOTE)の制御端子を搭載しています。パソコンなどからリモートコントロールが可能です。USBやRS-232Cを使ってプログラムのタイトルを入力することができます。

■ NTSC/PALの切り換え可能 (38ページ参照)

映像信号 (NTSC/PAL) に合わせ、設定 (SETUPのTV System) を切り換えることにより、それぞれの信号を録画再生することができます。

■ サーチプログラム **RAM** **DVD-R** (27ページ参照)

[SEARCH] ボタンを押すだけで、プログラムの一覧表を表示することができます。さらに一覧表からプログラムを選ぶだけで、すぐに再生させることができます。

■ メニュー画面による簡単操作 (23ページ参照)

メニュー画面には挿入しているディスクの種類に応じて、利用可能な機能が表示されます。よく使う機能はアイコンの中から選んで、すぐに実行することができます。

■ プログラムの編集 **RAM** (30、31ページ参照)

- プログラムを分割・削除することができます。
- 必要なシーンだけを並びかえて連続再生することができます。(プレイリスト)

■ DVD-Videoディスクの作成 (26ページ参照)

DVD-Rに録画しファイナライズを行うと、DVD-Video規格のディスクを作ることができます。このディスクは、互換性のあるDVDプレーヤーで再生することができます。

■ 小型・軽量

本機のサイズは幅214 mm、高さ102 mm、奥行365 mm、重量は4.6 kgです。

付属品

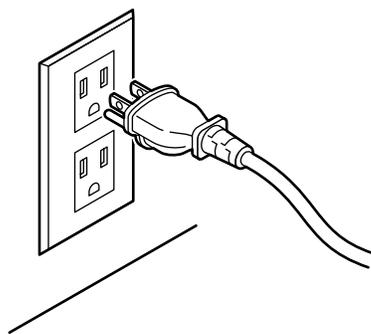
電源コード (3 芯) 1

強制イジェクトピン 1

電源プラグアダプター 1

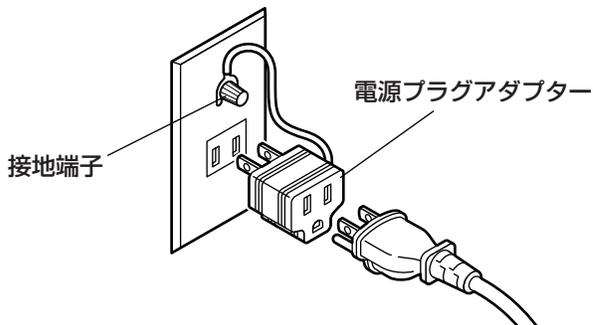
電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。本機に付属している電源プラグアダプターを、さらに変換して使用しないでください。

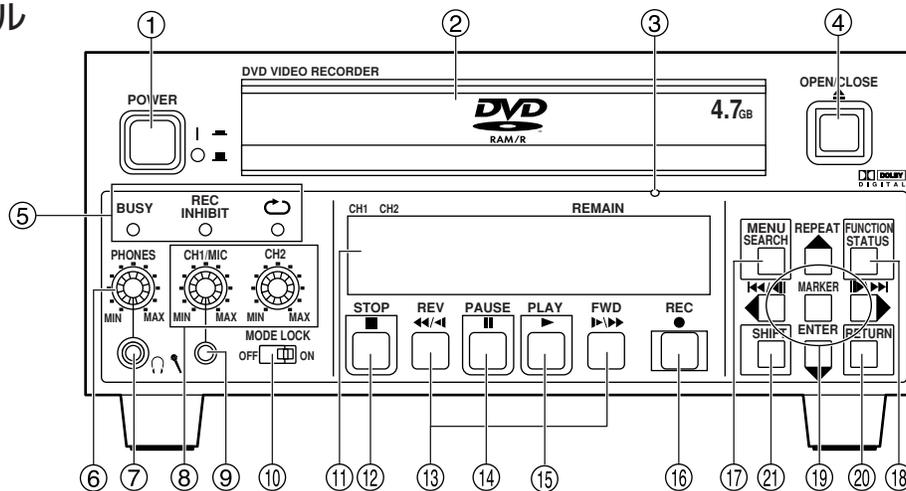
- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

各部の名称と機能

フロントパネル



① POWER ON/OFF ボタン (POWER)

主電源スイッチです。電源ON時はディスプレイ部が点灯します。

お願い：録画、再生、ディスクの編集を行っているときは、絶対に電源を切らないでください。

② ディスクトレイ

トレイを開いて、ディスクを載せます。

③ 強制イジェクトホール

ディスクを手動で取り出したいとき、付属の強制イジェクトピンを使用してトレイを引き出します。(43ページ参照)

お願い：強制イジェクトピンを使用してトレイを排出する場合は、必ず電源を切って行ってください。

④ ディスクトレイ開閉ボタン (OPEN/CLOSE ▲)

ディスクトレイが閉じているときに押すとディスクトレイが開きます。また、開いているときに押すとディスクトレイが閉じます。

⑤ LED 表示部

BUSY	録画中や再生中など、ディスクのアクセス中にランプが点灯します。 お願い： LEDが点灯中は絶対に電源を切らないでください。
REC INHIBIT	録画禁止設定しているディスクや録画できないディスクを入れると点灯します。
⌂ (REPEAT)	リピート動作をしているとき、ランプが点灯します。

⑥ ヘッドホン音量調整つまみ

ヘッドホンの音量を調整します。

ヘッドホンジャック (ステレオミニジャック)

ステレオヘッドホンを接続します。

⑧ 音量調整つまみ (CH1/MIC, CH2)

録音レベルを調整します。

DV入力端子から入力された音声の調整はできません。

⑨ マイクジャック (ミニジャック)

マイクを接続します。CH1にはマイク入力が優先して録音されます。

⑩ モードロック切り換えスイッチ (MODE LOCK)

ONにすると、フロントパネルからは操作できなくなります。

⑪ 表示パネル

ディスクの情報などを表示します。(9ページ参照)

⑫ 停止ボタン (STOP ■)

録画・再生を停止します。

⑬ スロー/サーチボタン (REV ◀◀/◀, FWD ▶/▶▶)

ディスクを再生中に押すと、早送り、巻戻し再生します。再生一時停止中に押すと、スロー再生します。

⑭ ポーズボタン (PAUSE ■■)

録画・再生の一時停止と一時停止の解除をします。

⑮ 再生ボタン (PLAY ▶)

ディスクを再生します。

⑯ 録画ボタン (REC ●)

ディスクに映像・音声を録画・録音します。

⑰ サーチプログラムボタン (SEARCH)

プログラムを選択するときに押します。

メニューボタン (MENU [SHIFT + SEARCH])

メニュー機能を使うときに押します。

⑱ ステータスボタン (STATUS)

ステータス表示機能を使うときに押します。

ファンクションボタン (FUNCTION [SHIFT + STATUS])

ファンクションメニュー機能を使うときに押します。

⑲ カーソルボタン (▲, ▼, ◀, ▶)

メニュー操作などで、項目を選択するときに押します。

リピートボタン (REPEAT [SHIFT + ▲])

再生中に押すと、インスタントリピート再生を開始します。

スキップ/ステップボタン (◀◀/▶▶, ▶▶/▶▶▶)

再生中に押すとスキップ動作をします。

再生一時停止中に押すと、コマ送り再生します。

スキップ (◀◀, ▶▶ [SHIFT + ◀◀/▶▶, ▶▶/▶▶▶])

スキップ動作をします。

エンターボタン (ENTER)

メニュー操作などで、操作を決定するときに押します。

マーカーボタン (MARKER [SHIFT + ENTER])

マーカーの設定を行います。

⑳ リターンボタン (RETURN)

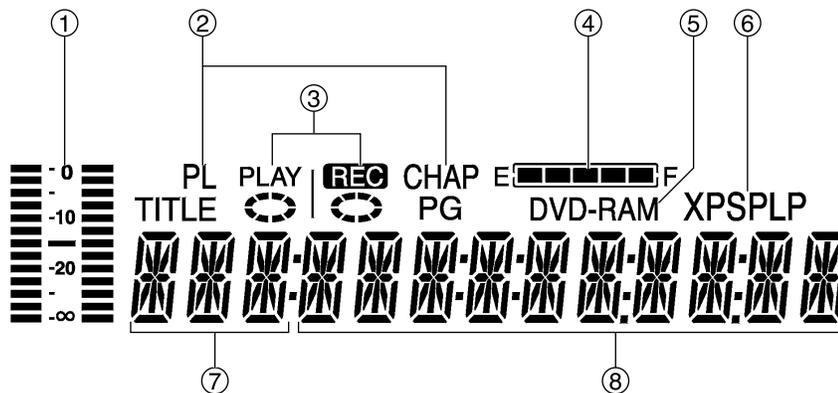
メニュー操作などで、操作をキャンセルするときに押します。

㉑ シフトボタン (SHIFT)

このボタンを押しながら他のボタンを押すと、青色の文字で書かれた機能が動作します。

各部の名称と機能 (つづき)

表示パネル



① オーディオレベルメータ

録音レベルを表示します。音声のレベルメータが振り切れないように、フロントパネルの音量調整つまみ (CH1/MIC, CH2) を使って、録音レベルを調整します。

② Main表示部のモード表示

ディスクの構成を表示します。
TITLE： タイトル番号
CHAP： チャプター番号
PG： プログラム番号
PL： プレイリスト番号

③ 録画・再生の状態表示 (REC, PLAY)

録画・再生の状態を表示します。
録画中： **REC** 点灯 回転
録画一時停止： **REC** 点灯 停止
再生中： **PLAY** 点灯 回転
再生一時停止： **PLAY** 点灯 停止

④ 残量表示

ディスクの録画できる時間の目安を表示します。残量が減っていくと、ランプが消えていきます。
※ 残量表示は正確な残量を示すものではありません。

⑤ ディスク種別

ディスクの種類を表示します。
DVD-RAM： DVD-RAM
DVD-R： DVD-R
DVD： ファイナライズ済みの DVD-R

⑥ 録画モード

録画モードを表示します。
XP： 高画質モード
SP： 標準モード
LP： 長時間モード

⑦ 入力

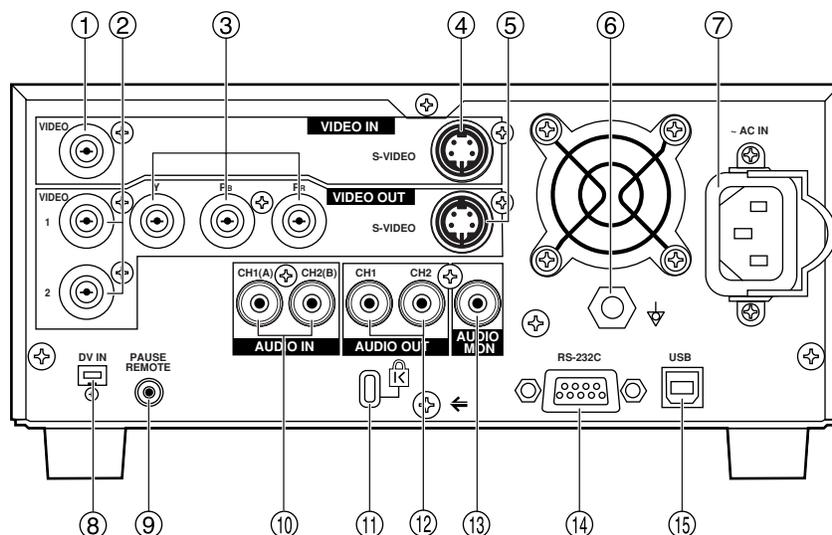
映像の入力を表示します。
V： VIDEO (コンポジット)
SV： S-VIDEO
DV： DV IN

⑧ Main表示部

さまざまな情報を表示します。
• 録画・再生時間
• 残量表示
例：1 時間 ⇒ “R 1:00” と表示されます。
• 時刻
• タイトル、チャプター、プログラム、プレイリスト番号
• その他さまざまな情報

各部の名称と機能 (つづき)

リアパネル



① VIDEO IN (BNC)

コンポジット信号の入力端子です。

② VIDEO OUT 1/2 (BNC)

コンポジット信号の出力端子です。

③ Y, PB, PR (BNC)

コンポーネント信号 (Y, PB, PR) の出力端子です。

④ S-VIDEO IN (4P)

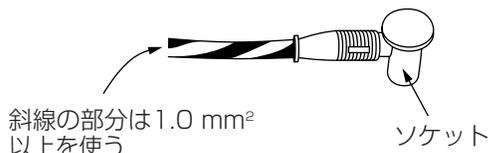
S-VIDEO (Y/C) 信号の入力端子です。

⑤ S-VIDEO OUT (4P)

S-VIDEO (Y/C) 信号の出力端子です。

⑥ 同電位端子

本機を他の機器と接続するときは、それぞれの機器の同電位端子を確実に接続してください。接続の際は、同電位端子用のソケットと、芯線が1.0 mm²以上の断面積を持った電線をお使いください。



⑦ AC IN

付属の電源コードを使って電源コンセントに接続します。

⑧ DV IN (4-pin)

DVの入力端子です。IEEE 1394 (4ピン) ケーブル (別売) を接続します。デジタル映像・音声をデジタルで入力することができます。

⑨ PAUSE REMOTE (ステレオミニジャック)

外部 (一時停止) 制御端子です。

録画のスタート/ポーズの制御と録画ステータス出力ができます。

⑩ AUDIO IN CH1 (A) / CH2 (B) (PHONO)

アナログ音声の入力端子です。マイクを接続しているときは、SETUPメニューの“Audio CH assignment with Mic”設定で、録音するチャンネルを選択することができます。

⑪ 盗難防止用ロック

Kensington社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。

接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

⑫ AUDIO OUT CH1/CH2 (PHONO)

アナログ音声の出力端子です。

⑬ AUDIO MON (PHONO)

アナログ音声の出力端子です。FUNCTIONのMonitor設定で、出力するチャンネルを選択することができます。

⑭ RS-232C (D-sub 9P)

RS-232C端子です。コンピュータなどを接続し外部コントロールすることができます。

⑮ USB (Type-B コネクター)

USB端子です。コンピュータなどを接続し外部コントロールすることができます。

本機で使用できるディスク

本機との相性が確認されている当社製のディスクを使用することをおすすめします。それ以外は、記録状態によって再生できない場合があります。

ディスク	ロゴマーク	本書でのマーク	録画	再生	プレイリストの作成	ディスクの構成例
DVD-RAM • 4.7 GB / 9.4 GB (12 cm)		RAM	○	○	○	プログラム プレイリスト
DVD-R • 4.7 GB (12 cm) for General Ver. 2.0 • 4.7 GB (12 cm) for General Ver. 2.0/4x-Speed DVD-R Revision 1.0		ファイナライズ前には DVD-R ファイナライズ後には DVD	○	○	×	プログラム タイトル チャプター

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。(下記の様な操作を行うと不具合を生じる可能性があります。)

- 本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
- 上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
- 他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる

お願い：

- 著作権保護のため、1世代だけ録画が許された映像が含まれることがあります。これらの映像には「CPRM」という技術が使われており、録画するにはディスクが「CPRM」に対応していることが必要です。
 - ・ 4.7 GB/9.4 GB ビデオ記録用 DVD-RAMなど、ジャケットなどに「CPRM」対応と書かれたディスクをお使いください。なお、DVD-Rは対応していません。
 - ・ 録画する方法は制限のない映像の場合と同じですが、録画した番組は複製できません。
- 汚れや傷があるディスクは使わないで下さい。記録面にある指紋、汚れホコリなどにより、録画できないことがあります。
- 本機はカートリッジ付きとなしのどちらにも対応しています。大切な情報の録画時にはカートリッジ付きを使い、誤消去防止のため録画後にプロテクトを設定することをおすすめします。

お知らせ：

- 本機で録画したDVD-RAMディスクは、当社製を含め互換性のないDVDプレーヤーでは再生できません。
- PAL方式の映像が録画されたディスクにNTSC方式の映像は記録できません。またその逆もできません。
- NTSC方式とPAL方式の両方の映像が録画されたディスクは、録画できません。またその再生もできないことがあります。
- 本機とディスク上のTVシステムが異なると、ファイナライズなどの編集操作は行なわないでください。

■ DVD-Rについて

DVD-Rをファイナライズすると「DVD-Video」として再生できます。本機で録画したDVD-Rを他の再生機器で再生するためにはファイナライズが必要です。

■ ファイナライズ前の DVD-R について

- ディスクの空き領域で、プログラムの録画や編集ができます。
- 本機以外で録画したDVD-Rは、ファイナライズの前であっても、本機で録画・編集しないでください。
- すでに録画や編集をした部分には上書きできません。またプログラムを消去しても録画残量は増えません。

- プログラムの削除やタイトルの修正などの編集操作を同一ディスク上で200回以上行なうと、ファイナライズ処理などの編集操作が正常にできなくなることがあります。

■ ファイナライズ後の DVD-R について

DVD-Rに録画しファイナライズを行うと、DVD-Video規格のディスクを作ることができます。

- 本機で入力したタイトルが、ディスクのメニューになります。
- 5分以上記録されたプログラムは、約5分ごとのチャプターに分かれます。
- ファイナライズ後のDVD-Rで、録画・編集はできません。
- ファイナライズ後のDVD-Rは、通常他のDVDプレーヤーで再生することができますが、DVD-Rや記録状態によって再生できない場合もあります。このような場合は、本機で再生してください。

お知らせ：

- 録画される映像のアスペクト比（横縦比）は録画するプログラムに関わりなく「4：3」になります。アスペクト比の変更は、モニターテレビ側の設定を変更してください。
- 録画終了後、管理情報を記録するために約30秒必要です。
- ディスクの挿入や電源のON/OFFを50回以上繰り返すと、録画（精度の高い録画のため調整を行ないます）できなくなることがあります。
- 録画状態によって再生できない場合があります。
- DVD-Rは、再生時に音声切換（主/副音声）できません。録画前に「Bilingual Audio Selection」で記録する音声を選んでください。（37ページ参照）
- 本機で録画されたDVD-Rは、当社製別機種種のDVDレコーダーで録画できないことがあります。
- 本機以外で録画したDVD-Rは、再生できない場合があります。

使用できないディスク例

DVD-Video, DVD-Audio, DVD-R for DL, 一部のDVD-R, +R, DVD-RAM (2.6 GB/5.2 GB), 8 cm DVD-R, 8 cm DVD-RAM (2.8 GB), DVD-ROM, DVD-RW, +RW, CD-ROM, Audio-CDs, Video-CD, CDV, CD-G, CVD, SVCD, SACD, MV-Disc, PD, Photo CD, Divx Video Disc, など。

オーディオフォーマットについて



ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。本機には、ステレオ (2ch) のドルビーデジタルデコーダを内蔵しています。

本機で使用できるディスク (つづき)

モニターテレビの種類と再生できるTVシステムについて

次の表は、接続しているモニターテレビの種類と、再生できるディスク上のTVシステムを示しています。再生するディスクのTVシステムに、本機とモニターテレビのTVシステムを合わせると、画像は鮮明になります。

モニターテレビの種類	ディスク上のTVシステム	再生の可/不可
NTSC/PAL	NTSC	可
	PAL	可
NTSC専用モニターテレビ	NTSC	可
	PAL	不可
PAL専用モニターテレビ	NTSC	可*1 (PAL60)
	PAL	可*2

※ ディスク上のTVシステムと本機のTVシステムが異なると、一部の操作を受け付けられないことや、異なった動作をすることがあります。

*1 お使いになるモニターテレビが“PAL 525/60”に対応していない時は、映像は映りません。

*2 本機のTVシステムをPALに設定した方が、映像は鮮明です。

接続と設定

本機は、ほこりが少なく振動や衝撃が加わらない安定した場所に設置してください。また、本機の通風孔をふさいだり、異常に温度が高くなるところへ置かないでください。

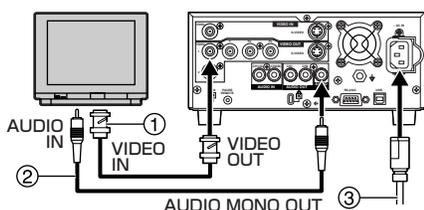
接続を行うすべての機器の電源を切って電源コードを抜き、作業を行ってください。電源コードはすべての接続が終わった後に接続します。また接続する機器の取扱説明書もよくご覧ください。

本機の電源が切れたり故障などがおこると、入力映像・音声が出されなくなります。入力映像・音声の確認に出力映像・音声を使う場合は、システム上の接続を考慮ください。また、重要な映像の記録には、複数台のレコーダで同時に録画を行なうなど、システム上の配慮を行なってください。

モニターテレビとの接続

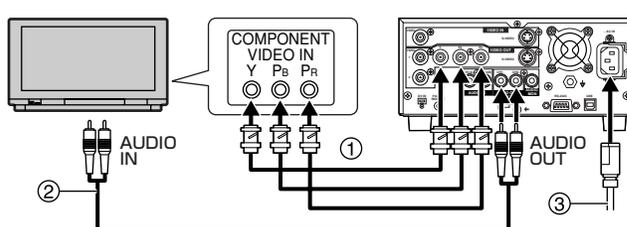
■ コンポジット映像/モノラル音声端子の場合

- ① 映像コード (BNC)
- ② 音声コード (PHONO)
- ③ 電源コード (付属品)



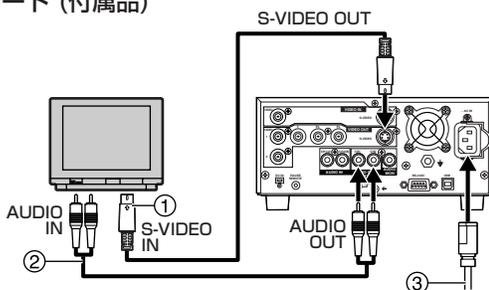
■ コンポーネント映像/ステレオ音声端子の場合

- ① コンポーネント映像コード (BNC×3)
- ② ステレオ音声コード (PHONO×2)
- ③ 電源コード (付属品)



■ S映像/ステレオ音声端子の場合

- ① S映像コード (4P)
- ② ステレオ音声コード (PHONO×2)
- ③ 電源コード (付属品)



プログレッシブ出力に変更するには、

- (1) 停止中、[MENU (SHIFT + SEARCH)] ボタンを押して、メニュー画面を開く
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで“SETUP”を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (3) [▲, ▼] ボタンで“Connection”を選択し、[◀]または[▶] ボタンを押す
- (4) [▲, ▼] ボタンで“TV System”を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで“NTSC”を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (6) [▲, ▼] ボタンで“Progressive (NTSC)”を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (7) [▲, ▼] ボタンで“On”を選択し、[ENTER] ボタンを押す

前の画面に戻るには
[RETURN] ボタンを押してください。

接続と設定 (つづき)

コンポーネント映像出力端子

コンポーネント映像出力端子は、インターレス方式の映像とプログレッシブ方式の映像のいずれかを出力することができます。

色を忠実に再現するために、映像信号を輝度信号 (Y) と色差信号 (P_B/P_R) の3つの端子に分けて出力します。S-VIDEO出力に比べ、きれいな映像を見ることができます。

• 接続するモニターテレビにより、コンポーネント映像出力端子の表示が異なることがあります。(例. Y/P_B/P_R, Y/B-Y/R-Y, Y/C_B/C_Rなど)

プログレッシブ映像を見るためには (NTSCのみ)

コンポーネント映像 (480P) 入力端子をもつモニターテレビと接続してください。(マクロビジョンのコピーガードシステムに対応していることが必要です。)

• パナソニック製の480P入力を持つテレビとは互換性があります。他メーカーのテレビをお使いの際は、そのメーカーにお問い合わせください。

プログレッシブ映像に関して

プログレッシブ映像のアスペクト比 (横縦比) は、16:9が標準です。16:9に記録された映像は、通常正しく表示されますが、4:3で記録された映像は、左右に広がって表示されます。

正常なアスペクト比で見るためには、

- プログレッシブ映像の横縦比を調整できるテレビでは、テレビ側の設定を使って調整します。
- プログレッシブ映像の横縦比を調整できないテレビでは、“Progressive (NTSC)” を “Off” に設定してください。

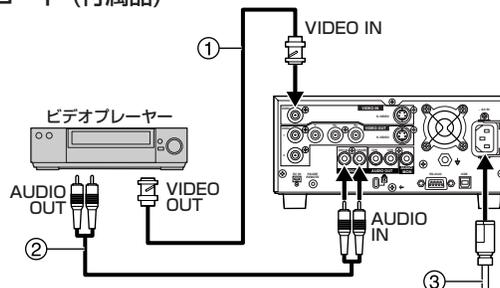
お知らせ :

プログレッシブ対応のモニターテレビをお使いでも、VIDEO OUTまたは、S-VIDEO OUTで接続すると、インターレス方式の表示となります。

ビデオプレーヤーとの接続

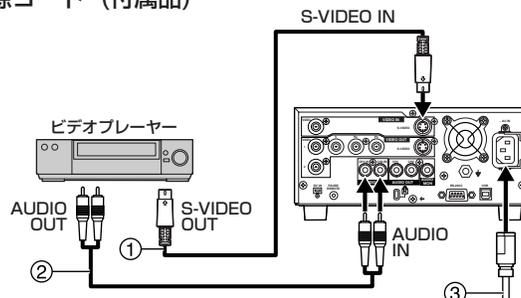
■ コンポジット映像/ステレオ音声端子の場合

- ① 映像コード (BNC)
- ② ステレオ音声コード (PHONO×2)
- ③ 電源コード (付属品)



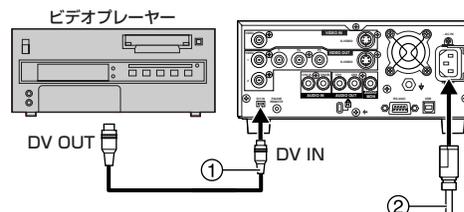
■ S映像/ステレオ音声端子の場合

- ① S映像コード (4P)
- ② ステレオ音声コード (PHONO×2)
- ③ 電源コード (付属品)



■ DV端子の場合

- ① DVコード (4P-4P or 4P-6P)
- ② 電源コード (付属品)



お願い :

IEEE1394ケーブル (DVコード) の接続の際には、以下のことを必ずお守りください。

- 本機ならびに接続するすべての機器は、共通のGNDに接地した状態で使用してください。共通のGNDに接地できないときは、IEEE1394ケーブルを抜き差しする前にすべての機器の電源を切って下さい。
- 6ピン型の端子を持つ機器と接続するときは、6ピン型の端子を先に、本機の端子を後で接続してください。
- 6ピン型の端子を持つ機器と接続するときは、IEEE1394ケーブルを端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながります。

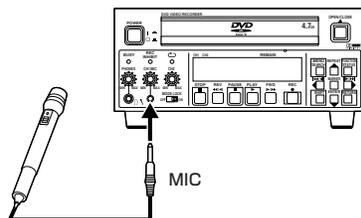
お知らせ :

- DV入力端子はDV機器との接続のみ可能です。ご使用になるDV機器によっては映像や音声が正しく入力されないことがあります。
- DV入力端子を使って、外部から操作することはできません。
- DV機器 (デジタルビデオカメラなど) との接続は1台のみ可能です。
- 接続したDV機器の映像圧縮方式が異なるときは、接続できません。

接続と設定 (つづき)

マイクとの接続

マイクを接続し録画を行うと、CH1にマイクの音声を録音することができます。



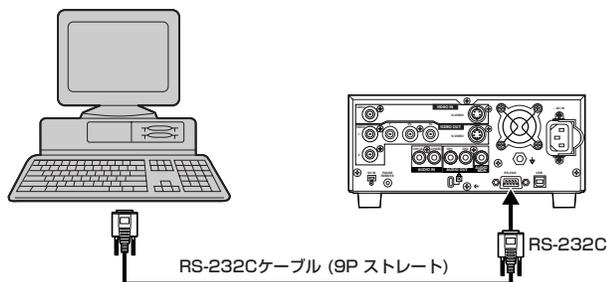
お知らせ：

- マイクを接続したとき、CH2には“Audio CH Assignment with Mic”で選択された入力が録音されます。
- モノラルミニプラグのマイクをご使用ください。また、コンデンサーマイクの場合は、電池内蔵のものをご使用ください。

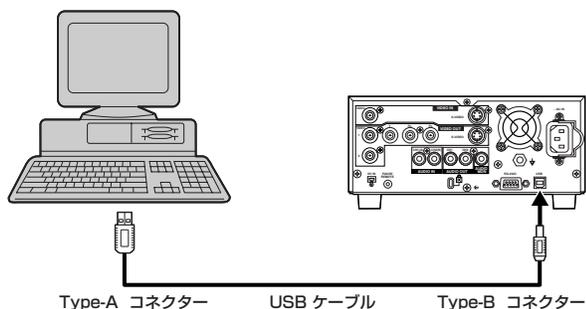
コンピュータとの接続

RS-232CやUSB端子とコンピュータを接続すると、外部から種々の操作が可能になります。

■ RS-232C端子



■ USB端子



初期設定の変更が必要なとき、次の手順に従ってください。他の項目については36ページをご覧ください。

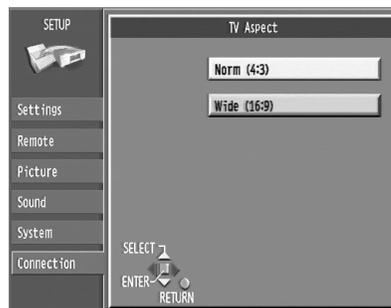
モニターテレビのアスペクト比設定 (TV Aspect)

本機の工場出荷設定は、標準サイズ (4:3) のモニターテレビ用になっています。標準サイズ (4:3) のままご使用になる場合は、以下の設定は必要ありません。

- (1) 本機をモニターテレビに接続し、本機の出力映像が映るようにする
- (2) 停止中、[MENU (SHIFT + SEARCH)] ボタンを押して、メニュー画面を開く
- (3) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで“SETUP”を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (4) [▲, ▼] ボタンで“Connection”を選択し、[◀]または[▶] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで“TV Aspect”を選択し、[ENTER] ボタンを押す



- (6) [▲, ▼] ボタンでモニターテレビのアスペクト (縦横比) を選択し、[ENTER] ボタンを押す



- 4:3 (工場出荷設定)
- 16:9

■ 前の画面に戻るには

[RETURN]ボタンを押します。

お願い：

モニターテレビの映像は、“TV Aspect”以外の設定にも影響を受けます。

正しく映らない場合は、下記の項目を調べてください。

- “Connection”メニューの“Norm (4:3) TV Settings (DVD)”または、“Norm (4:3) TV Settings (DVD-RAM)”設定
- 再生するディスク (ディスク自体に表示のしかたが固定されていることがあります)
- モニターテレビ側の設定

接続と設定 (つづき)

入力選択 (Input Select)

“TV Aspect” 設定 (1) ~ (3) の操作の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Picture” を選択し、[◀] または [▶] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで “Input Select” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (6) [▲, ▼] ボタンで入力を選択し、[ENTER] ボタンを押す
 - “V (VIDEO)”, “SV (S-VIDEO)”, “DV” が選べます。

お知らせ：

“V (VIDEO)”, “SV (S-VIDEO)” 選択時、音声入力は、AUDIO IN/MICになります。“DV” 選択時、音声入力は、DV INになります。

録画モード (Rec Mode)

“TV Aspect” 設定 (1) ~ (3) の操作の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Picture” を選択し、[◀] または [▶] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで “Rec Mode” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (6) [▲, ▼] ボタンで、録画モードを選択し、[ENTER] ボタンを押す
 - “XP”, “SP”, “LP” が選べます。

オーディオモード (Audio Mode)

録音する方式を設定します。

“TV Aspect” 設定 (1) ~ (3) の操作の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Sound” を選択し、[◀] または [▶] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで “Audio Mode for XP/SP Recording” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (6) [▲, ▼] ボタンでオーディオモードを選択し、[ENTER] ボタンを押す
 - “LPCM”, “Dolby Digital” が選べます。

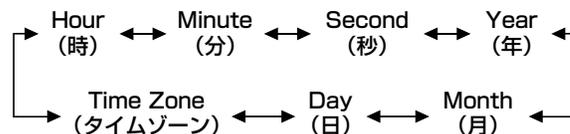
お願い：

- 高音質の録音をするときは、“LPCM” (リニアPCM) を選び、録画モードは “XP” または “SP” に設定してください。
- リニアPCM方式の録音は、ドルビーデジタル方式を使った場合より多くの容量を音声に使うため、映像が劣化することがあります。

時刻設定 (Clock)

“TV Aspect” 設定 (1) ~ (3) の操作の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Settings” を選択し、[◀] または [▶] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで “Clock” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (6) [◀, ▶] ボタンで変更したい項目を選ぶ
 - 項目は次のように変わります。



- (7) [▲, ▼] ボタンで設定を変更し、[ENTER] ボタンを押す

お知らせ：

- ご購入時、時計は設定されていません。ご使用前に設定を行ってください。
- 年は1988年から2087年まで設定できます。
- 時計用バッテリーは、約3年間動作します。
- タイムゾーンは “+9” に設定してください。

設定の初期化 (Shipping Condition)

SETUPメニューのすべての設定を工場出荷設定に戻すことができます。(ただしこの操作を行っても、テレビシステム (TV System)、時刻設定の日時は初期化されません。)

“TV Aspect” 設定 (1) ~ (3) の操作の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Settings” を選択し、[◀] または [▶] ボタンを押す
- (5) [▲, ▼] ボタンで “Shipping Condition” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (6) [◀, ▶] ボタンで “Yes” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (7) [◀, ▶] ボタンで “Yes” を選択し、[ENTER] ボタンを押す

■ 途中で止めるには

手順 (6) または (7) で “No” を選択し、[ENTER] または [RETURN] ボタンを押します。

プログラムの録画

RAM DVD-R

- 十分な残量があるディスクを使ってください。
- ディスクプロテクトやカートリッジプロテクトを解除してください。

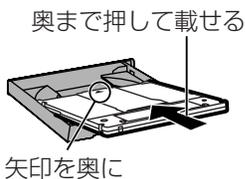
RAM

- 本機ではじめて使用するディスクは、精度よく録画できるようにフォーマットすることをおすすめします。

(1) [OPEN/CLOSE ▲] ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクをのせる

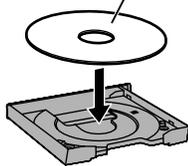
- トレイガイドにそって、1枚だけディスクを入れます。
- [OPEN/CLOSE ▲] ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。
- カートリッジのあるディスクは矢印を奥に向けた状態で、カートリッジのないディスクは、ラベル面を上にして入れます。(両面ディスクは、録画したい側のラベル面を上にして入れます。)

• カートリッジ有り



• カートリッジ無し

ディスクラベル面を上



(2) メニュー画面で入力を選択する

- “V(VIDEO)”, “SV(S-VIDEO)”, “DV” が選べます。

(3) メニュー画面で録画モードを選択する

- “XP”, “SP”, “LP” が選べます。

(4) メニュー画面でオーディオモードを選択する

- “LPCM”, “Dolby Digital” が選べます。

(5) 録音レベルを調整する

- フロントパネルの“CH1/MIC, CH2” ボリュームで、最適な録音レベルに調整します。

(6) [REC ●] ボタンを押して、録画を始める

- 未記録の部分に録画され、上書きされません。

お知らせ：

- コンピュータの出力信号は録画できません。
- DV入力を録画するときは、“Audio mode for DV Input” で録音する音声を選択します。
- 品質の悪い映像信号は録画制限のある映像信号と認識され、録画できないことがあります。
- TVシステム (NTSC/PAL) は、正しく設定してください。(38ページ参照)
- DV機器との接続は1台のみにしてください。
- DV入力端子を使って、外部から操作することはできません。
- DV機器の一部には、正常に映像・音声が入力できないものがあります。
- 録画できない場合は、接続とDV機器の設定を確かめ、電源を入れなおしてください。
- 市販のビデオやDVDソフトのほとんどは、録画禁止処理がされています。本機では録画禁止処理のされたソフトは録画できません。

- 最大99のプログラムを録画することができます。“Cannot record. Maximum number of programs recorded.” とメッセージが表示されたときは、すでに99のプログラムが録画されています。録画を行うには、不要なプログラムを消すか、新しいディスクをお使いください。
- 録画中や録画一時停止中に、入力や録画モードを変更することはできません。
- 録画をしようとしたとき、ディスクの録画残量がない場合は、エラーが表示されます。新しいディスクをお使いください。(DVD-RAMをお使いのときは、不要なプログラムを消去して録画を行うこともできます。)
- すでに録画されているディスクに、録画、編集、ファイナライズを行なうとき、記録されたキャラクターセットが異なると、タイトルの表示が出来なくなることがあります。お買い上げになった地域外のDVDビデオレコーダーで録画されたディスクは、再生以外の操作を行なわないで下さい。
- DVD-Rを使った録画は、制限があります。(11ページ参照)
- DVD-RAMはDVD-RIに比べて、信頼性の高い記録方式を使用しています。重要な映像の記録にはDVD-RAMを使用することをおすすめします。
- 入力された映像や本機の状態により、瞬間的に映像が乱れることがあります。
- ディスク上の傷やほこりなどにより、数秒間録画できないことがあります。
- 録画中は、本機を振動させないでください。

■ 録画を一時停止するには

[PAUSE ■] ボタンを押します。もう一度押すと録画を再開します。

■ 録画を停止するには

[STOP ■] ボタンを押します。

■ 両面ディスクについて

LPモードで両面ディスクを使うと、約8時間(片面は約4時間)の録画ができます。両面にまたがって録画することはできませんので、いったんディスクを取り出し裏返してください。

■ 録画モードと、録画時間の目安

	DVD-RAM		DVD-R (4.7 GB)
	片面ディスク (4.7 GB)	両面ディスク (9.4 GB)	
XP (高画質)	1 時間	2 時間	1 時間
SP (標準)	2 時間	4 時間	2 時間
LP (長時間)	4 時間	8 時間	4 時間

プログラムの録画 (つづき)

■ DVD-Rに録画するとき

- ファイナライズを行うと、互換性のあるDVDプレーヤーで再生できます。
- 入力信号によらず、標準サイズ (4:3) で録画されます。

■ リニアPCMで録音するとき

高音質のリニアPCM録音をする場合は、次の設定を行ってください。

- (1) SETUPメニューの“Audio Mode for XP/SP Recording”を“LPCM”に設定する。
 - (2) SETUPメニューの“Rec Mode”で“XP”または“SP”を選択する。
- リニアPCM方式の録音は、ドルビーデジタル方式を使った場合より多くの容量を音声に使うため、映像が劣化することがあります。

■ DVD-Rに録音したり、DVD-RAMにリニアPCMで録音するとき

DV入力の音声を録音するとき、「M1 (主音声)」または「M2 (副音声)」の一方しか録音できません。「Bilingual Audio Selection (二重放送音声記録)」でどちらかを選んでください。(37ページ参照)

お知らせ：

RAM

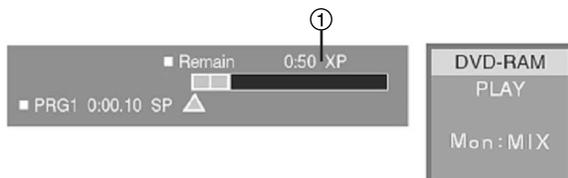
“Dolby Digital”を選択しているときは「M1 (主音声)」 「M2 (副音声)」両方の音声は録音されません。(再生時選択できます。)

DVD-R

再生時、ファンクションメニューの“Audio channel”は選択できません。

■ 残量と録画モードの確認

[STATUS]ボタンを数回押して、次の表示を行なう。



① ディスクの録画残量と現在の録画モード

(例 “0:50 XP” : 残量 50分、録画モード XP)

ディスクの再生

(1) [OPEN/CLOSE ▲] ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクをのせる

- トレイガイドにそって、1枚だけディスクを入れます。
- カートリッジのあるディスクは矢印を奥に向けた状態で、カートリッジのないディスクは、ラベル面を上にして入れます。(両面ディスクは、再生したいラベル面を上にして入れます。)

(2) [OPEN/CLOSE ▲] ボタンを押してディスクトレイを閉じる

- 数秒間、ディスクの読み込みをします。

(3) [PLAY ▶] ボタンを押して再生を始める

RAM DVD-R

最新のプログラムが再生されます。

DVD

ディスクの先頭から再生します。

再生を一時停止するには

[PAUSE ■] ボタンを押します。もう一度押すと、再生を再開します。

再生を停止するには

[STOP ■] ボタンを押します。

- 右のような画面が表示されることがあります。このとき、もう一度 [STOP ■] (停止) を押すと、本機の入力映像を見ることが出来ます。



停止した位置から再生 (レジューム機能)

(1) 再生中、[STOP ■] ボタンを押す

- 止めた位置が記憶されます。

(2) [PLAY ▶] ボタンを押す

- 止めた位置から再生を始めます。
- レジューム機能が働いているときは、STOPボタンが点灯し、PLAYボタンが点滅します。

レジューム機能をキャンセルするには

- 停止中に[STOP ■] ボタンを押すと、止めた位置が消去されます。(電源を切ったときも止めた位置が消去されます。)
- レジューム機能が働いていないときは、STOPボタンのみが点灯しPLAYボタンは消灯します。

早送り、巻き戻し再生

停止中、[REV ◀◀] または [FWD ▶▶] ボタンを押す

- ディスクの先頭、終端を読み出して、再生一時停止します。

再生中、[REV ◀◀] または [FWD ▶▶] ボタンを押す

- ボタンを押すごとに再生速度が早くなります。(5段階)
- [PLAY ▶] ボタンを押すと、通常再生にもどります。
- 表示される速度は目安です。
- 1段階目の早送り再生のみ音声聞こえます。

DVD

- タイトル番号が変わると通常再生に戻ります。



スロー再生

一時停止中、[REV ◀◀] または [FWD ▶▶] ボタンを押す

- ボタンを押すごとにスロー再生速度が早くなります。(5段階)
- [PLAY ▶] ボタンを押すと、通常再生にもどります。
- 表示される速度は目安です。

DVD

- タイトル番号が変わると通常再生に戻ります。

お知らせ:

- スロー再生の速度によって、スムーズな再生にならないことがあります。

コマ送り再生

再生一時停止中、[◀◀] または [▶▶] ボタンを押す

[◀◀]: コマ戻し

[▶▶]: コマ送り

- [PLAY ▶] ボタンを押すと、通常再生にもどります。

プログラムの頭出し (スキップ)

プログラムやチャプターの先頭やマーカーを頭出しし、そこから再生することができます。

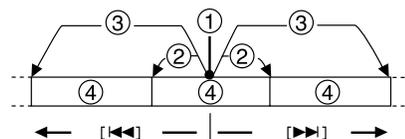
再生または再生一時停止中、[SHIFT+◀◀] または [SHIFT+▶▶] ボタンを押す

[◀◀]: 前へスキップして戻る

[▶▶]: 次へスキップして進む

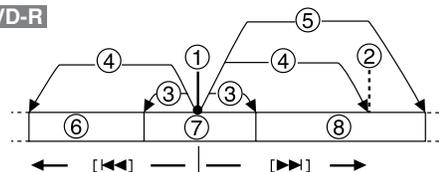
- ボタンを押した数だけ、スキップします。

DVD



- ① 再生位置/再生一時停止位置
- ② ボタンを1回押す
- ③ ボタンを2回押す
- ④ チャプター

RAM DVD-R



- ① 再生/停止位置
- ② マーカー位置
- ③ ボタンを1回押す
- ④ ボタンを2回押す
- ⑤ ボタンを3回押す
- ⑥ 前のプログラム
- ⑦ 再生/停止中のプログラム
- ⑧ 次のプログラム

- 停止中に[◀◀] または [▶▶] ボタンを押しても、マーカー位置へスキップしません。

お知らせ:

- スキップした後、前の状態 (再生または再生一時停止) にもどります。
- 再生一時停止の場合は、[PLAY ▶] ボタンを押すと再生を始めます。
- 再生中は、[◀◀] または [▶▶] ボタンだけを押し続けてスキップさせることが出来ます。

ディスクの再生 (つづき)

5分飛ばして再生 (タイムスリップ)

RAM DVD-R

再生中、[SHIFT + REV ◀◀/▶▶]または
[SHIFT + FWD ▶▶/▶▶]ボタンを押す

- SHIFT + [◀◀/▶▶]: 約5分戻して再生します
- SHIFT + [▶▶/▶▶]: 約5分進めて再生します
- ボタンを押した時間だけ、スキップします。

お知らせ:

- サーチプログラム画面やプレイリスト画面を開いているときは、使えません。
- プログラムやタイトルを越えてスキップできません。

インスタントリピート再生 (Instant Repeat)

ディスク上の任意の点で連続リピート再生をすることができます。

通常再生中、[REPEAT (SHIFT + ▲)]ボタンを押す

- ボタンを押した点と、SETUPメニューの“Repeat Duration”で設定された時間を戻った点との間を、繰り返し再生します。
- インスタントリピート再生は、再生一時停止、再生一時停止解除、スロー再生、コマ送りを行っても、取り消されません。STOP・REC・早送り、巻戻し再生・SKIPなどを行うと、インスタントリピート機能は取り消されます。

お知らせ:

- プレイリスト再生中や、ファンクションメニューでリピート再生を設定しているときは動作しません。
- インスタントリピート再生は同じプログラム内でのみ動作します。
プログラムの先頭付近でインスタントリピート再生をすると、“Repeat Duration”で設定された時間を戻った点が同じプログラムにない場合があります。このときは、プログラムの先頭とボタンを押した点の間を、繰り返し再生します。
- インスタントリピート再生中に、逆方向のスロー再生や逆方向のコマ送りを行った場合は、繰り返し区間を超えても、そのまま再生を続けリピート再生しません。

マークした位置からの再生 (MARKER)

RAM DVD-R

- 最大999の位置を記録し、その位置から再生することができます。
DVD-RAMを使ったとき、マーカー情報は直接ディスクに記録されます。ディスクを取り出してもマーカー情報は保存されます。
DVD-Rを使ったときは、ファイナライズするとマーカー情報は消去されます。

DVD

- 最大5つの位置を記憶し、その位置から再生することができます。
- ディスクを取り出すと、マーカー情報は消去されます。

直接マーカーを登録する

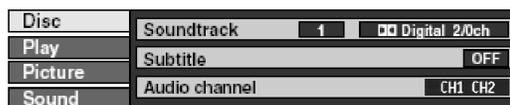
再生中または再生一時停止中、[MARKER (SHIFT + ENTER)]ボタンを押す

マーカーが追加されます。

ファンクションメニューでマーカーの操作をする

■ マーカーアイコンを表示するには

(1) 再生または再生一時停止中、[FUNCTION (SHIFT + STATUS)]ボタンを押す



(2) [▲, ▼]ボタンで“Play”を選択し、[▶]ボタンを押す



(3) [▲, ▼]ボタンで“Marker”を選択し、[▶]ボタンを押して、最初の“*”マークを選択する



■ マーカーを登録するには

(1) [◀, ▶]ボタンで“*”マークを選択する

(2) [ENTER]ボタンを押す

- “*”マークが数字に変わりマーカーが追加されます。

■ 11個以上マーカー登録をするときは

RAM DVD-R

(1) [◀, ▶]ボタンで“1-10”を選択する

(2) [▲, ▼]ボタンで“11-20”を選択する

- マーカーがいっぱいのときは、次のグループを選択できます。

(3) [▶]ボタンを押す

- 最初の“*”マークを選択します。

(4) [ENTER]ボタンを押す

- マーカーが追加されます。

■ マーカーの位置から再生するには

(1) [◀, ▶]ボタンでマーカー番号を選択する

(2) [ENTER]ボタンを押す

- マーカーの位置から再生をはじめます。

■ マーカーを消去するには

[◀, ▶]ボタンでマーカー番号を選択し、[SHIFT + RETURN]ボタンを押します。

■ ファンクションメニューを消すには

[FUNCTION (SHIFT + STATUS)]ボタンを押します。

お知らせ:

RAM

- プレイリスト再生中はマーカーの設定はできません。
- ディスクプロテクトやカートリッジプロテクトされている時は、設定・消去できません。

RAM DVD-R

- マーカー番号は時間経過順に並べ替えられます。設定したときと呼び出すときの番号は異なる場合があります。

DVD

- 表示パネルに再生経過時間が表示されないとき、マーカーの設定はできません。
- 字幕が録画されたディスクは、マーカーが表示されないことがあります。

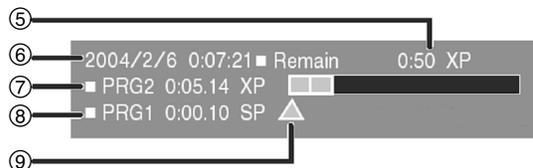
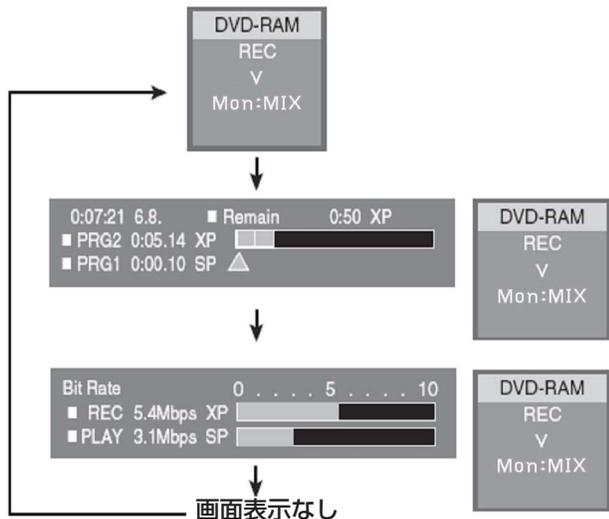
ステータス表示 (STATUS)

本機を操作したとき、モニターテレビ画面で操作の内容や本機の状態を確認できます。

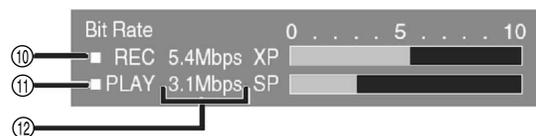
[STATUS]ボタンを押すたびに、ステータス表示が切り換わります。



DVD-RAMの例

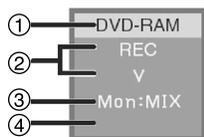


- ⑤ ディスク残量、現在の録画モード
(例 “0:50 XP” ディスク残量：50分、録画モード：XP)
- ⑥ 日付、現在時刻
- ⑦ 録画経過時間
プログラム番号、記録時間、記録モード、ディスクの録画状況
- ⑧ 再生経過時間
- ⑨ 再生位置



- ⑩ 録画時の映像ビットレート
- ⑪ 再生時の映像ビットレート
- ⑫ ビットレート、録画モード、ピクチャータイプ表示
 - 再生中はMbpsで、一時停止中はkbitで表示します。
 - 録画時と再生時とはビットレートの計算方法が異なるため、表示する値が異なることがあります。(表示は目安です。)
 - 一時停止中はピクチャータイプ (I, P, B) を表示します。

表示例



(“On Screen Status : Window Type” が “Normal” のとき)



(“On Screen Status : Window Type” が “Small” のとき)

- ① ディスクの種類
- ② 動作状態、映像入力
 - REC: 録画
 - PAUSE: 録画一時停止
 - PLAY: 再生
 - || : 再生一時停止
 - ▶▶: 早送り再生 (5段階)
 - ◀◀: 巻戻し再生 (5段階)
 - ▶: 正方向へのスロー再生 (5段階)
 - ◀: 逆方向へのスロー再生 (5段階)
 - V: VIDEO IN
 - SV: S-VIDEO IN
 - DV: DV IN
- ③ モニター音声
MIX, CH1, CH2 : FUNCTIONメニューで変更します。
- ④ 出力音声
CH1 CH2, CH1, CH2 : FUNCTIONメニューで変更します。
“CH1, CH2” を選択しているときは、表示されません。

お知らせ：

- ステータス表示をやめるには、[STATUS] ボタンを押して画面表示なしの状態にし、SETUPメニューの “On-Screen Status : Mode” を “Off” にします。また “Automatic” に設定すると、操作したとき、5秒間だけ上記の ①, ②, ③, ④ を表示させることができます。
- “On-Screen Status : Window Size”、“On-Screen Status : Window Type” で表示サイズや表示位置を選択できます。
- “On-Screen Type” を “R-Bottom” または “L-Bottom” に設定したとき、本機のTVシステムと異なるディスクを再生すると、ステータス表示が正常な位置に表示されません。

ファンクションメニュー (FUNCTION)

ファンクションメニューで、ディスクや本機の状態の表示や、その変更を行うことができます。

ファンクションメニューを使うには

- (1) 再生中、[FUNCTION (SHIFT + STATUS)]ボタンを押す



- (2) [▲, ▼]ボタンでメニューを選択し[▶]ボタンを押す
(3) [▲, ▼]ボタンで項目を選択し[▶]ボタンを押す
(4) [▲, ▼]ボタンで設定を変更する
- 項目によっては、多少操作が異なるものがあります。
 - 画面の表示にしたがって操作を行ってください。

- **メニューを閉じるには**
[RETURN]ボタンを押します。

- **終了するには**
[FUNCTION (SHIFT + STATUS)]ボタンを押します。

お知らせ：

- ディスクの種類によって、表示は変わります。また、ディスクが入っていないときは、ファンクションメニューが表示されません。
- 本機の状態 (再生中、停止中など) や再生しているディスクの内容によって、選択や変更をできない項目があります。

ディスクメニュー (Disc)



■ Soundtrack (音声情報)

音声番号 **DVD**
番号を選ぶとその音声を再生します。

音声属性

LPCM/PPCM/ Digital : 信号のタイプ
k (kHz) : サンプル周波数
b (bit) : ビット数
ch (channel) : チャンネル数

■ Subtitle (字幕情報)

字幕番号 **DVD**
番号を選ぶとその字幕を再生します。
字幕 ON/OFF
ONを選ぶと字幕を表示します。

■ Audio channel (音声チャンネル) **RAM**

出力音声チャンネルを変更します。
再生中

CH1 ↔ CH2 ↔ CH1 CH2 (表示なし)

↑
選択された設定がステータス表示に反映されます。

① (例) "CH1 CH2" を選択



■ Angle (アングル) **DVD**

番号を選ぶとそのアングルを再生します。

お知らせ：

本機で作成したDVD-Videoの、音声情報、字幕情報、アングルは変更できません。

ファンクションメニュー (FUNCTION) (つづき)

再生メニュー (Play)

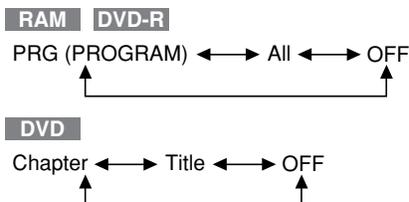
Disc	Repeat Play	OFF
Play	Marker	1-10 *****
Picture		
Sound		

Repeat Play (リピート再生)

プログラム、プレイリスト、ディスク全体、チャプター、タイトル全体のリピート再生をおこないます。

再生中、[▲]、[▼]ボタンを押す

再生するディスクにより選択できる設定が異なります。



プレイリスト再生中、[▲]、[▼]ボタンを押す



お知らせ：

- ディスクによってはリピート再生できないことがあります。
- 表示パネルに再生経過時間が表示されないとき、リピート再生はできません。
- インスタントリピート再生中は、一度インスタントリピート再生を終了してから、リピート再生をしてください。

RAM

- 複数のプレイリストを続けてリピート再生できません。

Marker (マーカー)

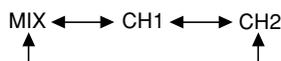
マーカー設定や、マーカーの位置からの再生を行います。(19ページ参照)

音声メニュー (Sound)

Disc	Monitor	MIX
Play		
Picture		
Sound		

Monitor (モニター)

AUDIO MON端子から出力する音声を選択します。



映像メニュー (Picture)

Disc	MODE	Normal
Play	DNR	ON
Picture	Progressive	ON Transfer AUTO1
Sound		

MODE (画質選択)

- Normal：標準
- Soft：ざらつきの少ない柔らかな映像
- Fine：輪郭が強調されたくっきりした映像
- Cinema：暗い場所で細部を見やすい映像
- User：映像を以下の項目ごとに調整します

Detail picture adjustment (詳細画質選択) ページ1/2

画質選択で“User”を選び、[◀]、[▼]、[ENTER]と順に押す

- Contrast：映像の白い部分と黒の部分に強弱をつける (-7~+7)
- Brightness：画面全体を明るくする (0~+15)
- Sharpness：映像の水平方向の鮮やかさを高める (-6~+6)
- Color：色の濃さを変化させる (-7~+7)

Detail picture adjustment (詳細画質選択) ページ2/2

画質選択で“User”を選び、[◀]、[▼]、[ENTER]、[▲]と順に押す

- Gamma：映像の中間明度を強調し、暗く見えにくい映像でも輪郭を忠実に再現する (0~+5)
- 3D NR：画面全体のノイズを取り除く (0~+4)
- Block NR：動画モザイク状のノイズを取り除く (0~+3)
- Mosquito NR：文字の周辺など、周囲とコントラストがはっきりした部分に見えるもやのようなにじみを補正する (0~+3)

- [ENTER] または [RETURN] ボタンを押すと設定されます。
- “Detail picture adjustment” を初期化するには “Detail picture adjustment” の画面を開いて [SHIFT + RETURN] ボタンを押してください。

DNR (DNR設定)

画質選択で“User”以外を設定したとき選択できます。MPEG特有のノイズを低減する機能(3D NR, block NR, mosquito NR)をON/OFFします。

ON ↔ OFF

Progressive (プログレッシブ)

SETUPメニューで“Progressive (NTSC)”を“ON”にし、“TV System”を“NTSC”に設定したときだけ、選択できます。

- ON：プログレッシブ映像を出力します
- OFF：プログレッシブ映像を出力しません(プログレッシブ映像で出力すると、横縦比が正しく表示できないとき選びます)

Transfer (変換モード)

“Progressive”をONにしたときだけ選択できます。プログレッシブ出力変換方式を素材に合わせて選びます。

- Auto1：標準、フィルム素材に適した変換
- Auto2：Auto1に加え、30コマ/秒のビデオ素材にも対応した変換
- Video：ビデオ素材に適した変換

メニュー画面 (MENU)

本機のほとんどの機能が、メニュー画面から操作できます。ディスクの種類に応じて、使える機能をアイコンから選んで実行します。

DVD-RAMの例



- ① ディスクの種類/ディスクタイトル
挿入されているディスクの種類を表示します。また、ディスクのタイトルが記録されていると、それを表示します。タイトルはDISC INFORMATION画面の“Enter Title”で入力できます。
- ② ディスクプロテクト (Disc Protection)
DISC INFORMATION画面の“Disc Protection”プロテクトを設定すると“On”と表示されます。
- ③ カートリッジプロテクト (Cartridge Protection)
カートリッジのプロテクトを設定すると“On”と表示されます。

メニュー画面を使うには

- (1) 停止中、[MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押して、メニュー画面を開く
- (2) [↑, ↓, ←, →]ボタンで項目を選ぶ
 - 項目の詳細は、以降のページをご覧ください。
- (3) [ENTER]ボタンを押す
 - メニュー画面が閉じ、それぞれの項目の画面が開きます。さらに選択する必要がある場合は、次の画面が表示されます。

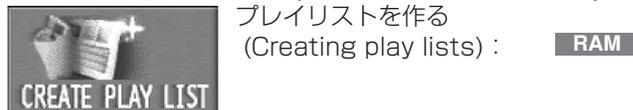
■ メニュー画面を閉じるには
[MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタン、または [RETURN]ボタンを押します。

■ メニュー画面のアイコン

SEARCH PROGRAM (サーチプログラム)



CREATE PLAY LIST (プレイリストの新規作成)



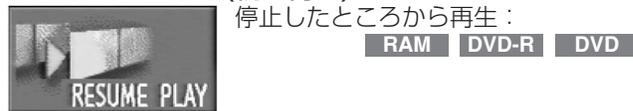
PLAY LIST (プレイリスト)



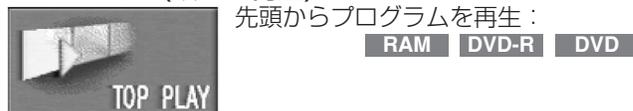
PLAY (再生)



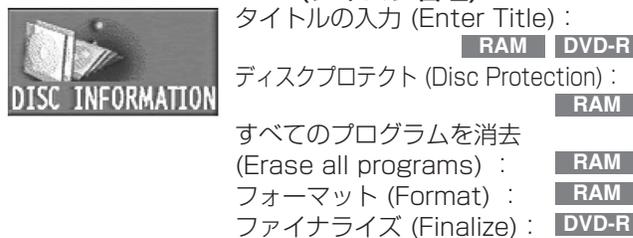
RESUME PLAY (続き再生)



TOP PLAY (頭から再生)



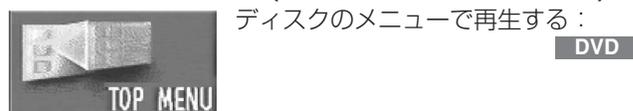
DISC INFORMATION (ディスク管理)



SETUP (初期設定)



TOP MENU/MENU (トップメニュー/メニュー)



お知らせ :

「プロテクトを設定している」などの条件によって、選択できない項目は灰色で表示されます。

ディスク管理 (DISC INFORMATION)

録画されたディスクに対して以下の機能を使用することができます。

RAM DVD-R

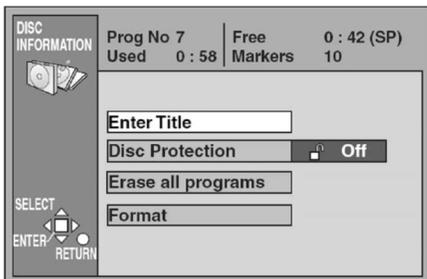
- ディスクのタイトルを入力します。(Enter Title)
- DVD-RAMの書き込み禁止・許可を設定します。(Disc Protection)
- DVD-RAMのすべてのプログラムやプレイリストを消去します。(Erase all programs)
- DVD-RAMをフォーマットします。(Format)
- DVD-Rをファイナライズし、互換性のあるDVDプレーヤーで再生できるようにします。(Finalize)

タイトルの入力 (Enter Title)

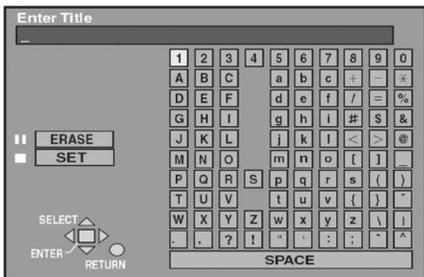
RAM DVD-R

それぞれのディスクごとにタイトルを付けることができます。

- (1) 停止中、[MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“DISC INFORMATION”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンで“Enter Title”を選択し、[ENTER]ボタンを押す



- (4) タイトルを入力する



お知らせ：

- DVD-RAMは最大64文字、DVD-Rは最大40文字のタイトルを入力できます。
- DVD-Rをファイナライズするとタイトルに使用している文字のフォントサイズによっては31文字以後が表示されないことがあります。
- 一度ファイナライズしたDVD-Rは、タイトル入力できません。
- タイトルの入力の詳細は、“文字の入力”をご覧ください。(35ページ参照)

ディスクプロテクト (Disc Protection)

RAM

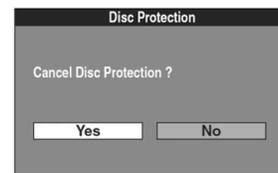
ディスクに録画されたプログラムを誤って消去しないように設定できます。また、一度書き込みできないように保護されたディスクを、再び書き込めるように設定できます。

“タイトルの入力”の手順(1)～(2)の後、次の手順で操作してください。

- (3) [▲, ▼]ボタンで“Disc Protection”を選択し、[ENTER]ボタンを押す



- (4) [◀]ボタンで“Yes”を選択し、[ENTER]ボタンを押す



途中で止めるには

手順(4)で“No”を選択し、[ENTER]または[RETURN]ボタンを押します。

ディスク管理 (DISC INFORMATION) (つづき)

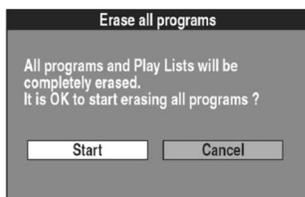
すべてのプログラムの削除 (Erase all programs)

RAM

一度消去したプログラムやプレイリストは、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

“タイトルの入力”の手順(1)～(2)の後、次の手順で操作してください。

- (3) [▲, ▼]ボタンで“Erase all programs”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (4) [◀]ボタンで“Yes”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (5) [◀]ボタンで“Start”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - すべてのプログラムとプレイリストが消去されます。



途中で止めるには

手順(4)で“No”を選択するか、手順(5)で“Cancel”を選択し、[ENTER]または[RETURN]ボタンを押します。

お知らせ：

- ディスクのタイトルも消去されます
- プロテクトを設定したプログラムがあると、削除されません。
- パソコンのデータは消去されません。
- ディスクプロテクトされている場合は、削除されません。

フォーマット (Format)

RAM

フォーマットされていないディスクを使う前や、ディスクの内容をすべて消去したいときに行います。

一度フォーマットしたディスクは、元に戻すことができません。すべて消去してよいか確認してから行ってください。

“タイトルの入力”の手順(1)～(2)の後、次の手順で操作してください。

- (3) [▲, ▼]ボタンで“Format”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (4) [◀]ボタンで“Yes”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (5) [◀]ボタンで“Start”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - フォーマットが始まります。フォーマットが終了すると、“Formatting is complete”とメッセージが表示されます。



途中で止めるには

手順(4)で“No”を選択するか、手順(5)で“Cancel”を選択し、[ENTER]または[RETURN]ボタンを押します。

フォーマットの実行中に中止するには

実行中の時間が2分以上になった場合、[RETURN]ボタンを押して、フォーマットを中止することができます。ただし、途中でフォーマットを中止したディスクを使用するときは、再度フォーマットをする必要があります。

お願い：

“Formatting the disc”と表示されているときは、絶対に電源コードを抜いたり、本機の電源を切らないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ：

- フォーマットは通常数分ですが、最大約70分かかる場合があります。
- 本機で録画した内容だけでなく、パソコンで書かれたデータも消去されます。
- カートリッジプロテクトされたディスクは、フォーマットできません。プロテクトを解除してから、フォーマットを行ってください。
- DVD-Rは、フォーマットできません。
- 本機で使えないディスクをフォーマットしようとする時、“Unable to format”と表示されます。
- プログラムにプロテクトを設定していると、手順(5)で“Contents on the disc have been protected. Start formatting the disc?”と表示されます。フォーマットを行いたいときは、“Start”を選択してください。
- フォーマットすると、プログラムやディスクにプロテクトを設定していても消去されます。

ディスク管理 (DISC INFORMATION) (つづき)

ファイナライズ (Finalize)

DVD-R

本機で録画したDVD-Rは、本機でファイナライズを行うことで、DVDビデオ規格に準拠したディスクにすることができます。このディスクは、DVD-Rに対応したDVDプレーヤーで再生することができます。

本機で作ったメニューは、DVDプレーヤーでも使えます。

一度ファイナライズしたディスクは、元に戻すことができません。ファイナライズしてよいか確認してから行ってください。

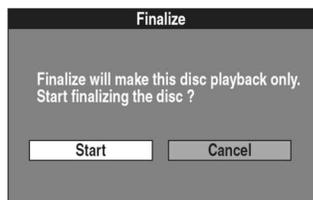
“タイトルの入力” の手順 (1) ~ (2) の後、次の手順で操作してください。

(3) [▲, ▼] ボタンで “Finalize” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す

(4) [◀] ボタンで “Yes” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す

(5) [▶] ボタンで “Start” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す

- ファイナライズが始まります。ファイナライズが終了すると、“Finalizing is finished” とメッセージが表示されます。



途中で止めるには

手順 (4) で “No” を選択するか、手順 (5) で “Cancel” を選択し、[ENTER] または [RETURN] ボタンを押します。

お願い：

傷や汚れのあるディスクはファイナライズを行なわないでください。また、“Finalizing the Disc” と表示されているときは、絶対に本機に振動を与えたり、電源コードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。ディスクが使えなくなることがあります。ファイナライズに失敗すると、記録されているすべての映像・音声再生できなくなります。

お知らせ：

- 本機以外で録画したDVD-Rはファイナライズできません。
- 本機で録画したDVD-Rは、他の機器でファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズ後のDVD-Rは、録画や編集はできません。
- 5分以上録画したプログラムは、約5分ごとに「チャプター」として分割されます。
- ファイナライズ前のマーカーは消去されます。
- ファイナライズは、最大約15分かかる場合があります。

■ ショートカット操作

次の手順で操作すると、停止中の状態から直接ファイナライズを行うことができます。

停止中、[ENTER] ボタンを押しながら

[OPEN/CLOSE ▲] ボタンを同時に2秒以上押す

- ファイナライズが始まり、表示パネルに “FINALIZE →→→” と表示されます。
- ファイナライズ中は、“→” が左から右の順に点滅します。
- ファイナライズが終了すると、“FINALIZE→→→” の表示が他の表示 (“PLAY” など) に変わります。

サーチプログラム画面 (SEARCH PROGRAM)

録画されたディスクに対して以下の機能を使用することができます。

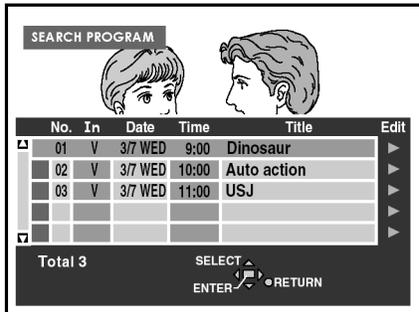
プログラムを選択して再生

RAM DVD-R

録画したプログラムのリスト (サーチプログラム) から、プログラムを選んで再生することができます。

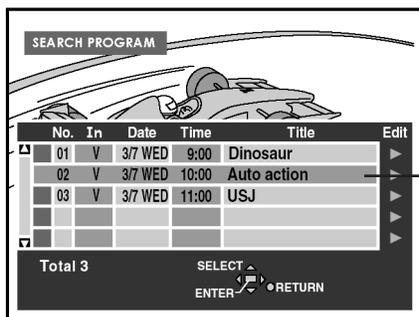
(1) 再生中、停止中、再生一時停止中、 [SEARCH] ボタンを押す

- プログラムリストが表示されます。
- プログラムリストの背景で、選択しているプログラムを再生します。



(2) [▲, ▼] ボタンで再生したいプログラムを選択し、 [ENTER] ボタンを押す

- プログラムリストの背景で、選択したプログラムが再生されます。



例
プログラム2を
選択

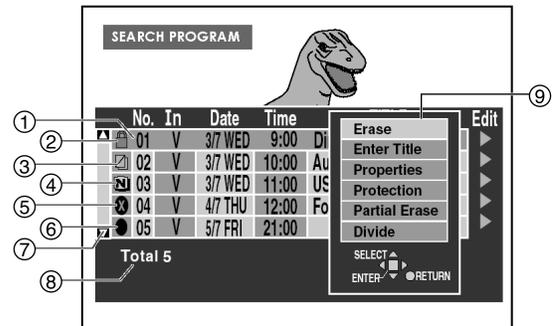
■ 画面を閉じるには

[SEARCH]または[RETURN]ボタンを押します。

お知らせ：

- プログラムにタイトルを付けると、そのタイトルがプログラムリストに表示されます。
- 本機の内蔵の時計を正確に合わせておいてください。

プログラムリスト



(例) プログラム1を選択

- ① プログラム番号、映像入力端子名、録画日、録画開始時刻、タイトル (入力時のみ表示)
 - ② プログラムプロテクト
 - プログラムごとに、誤って消去できないよう保護をすることができます。
 - 保護 (プロテクト) されると、マークが表示されます。
 - ③ コピー禁止/誤ったTVシステム (PALまたはNTSC)
 - 録画禁止信号が含まれているため、録画できなかったプログラム。
 - TVシステムが異なるため、録画できなかったプログラム。
 - ④ NTSC / PAL
- 本機のTVシステムと異なるTVシステムで録画されたプログラム。
- ⑤ 再生できない

再生できないプログラム。
 - ⑥ 録画中

録画中のプログラム
 - ⑦ スクロールバー

5つ以上のプログラムがあるとき、表示されているプログラムが全体のリストのどの部分か、おおよその位置を表示します。
表示されていないプログラムも、[▲, ▼]ボタンで選択できます。
 - ⑧ 全プログラム数

全体のプログラムの数を表示します。
 - ⑨ サブメニュー

[▶]ボタンを押すと表示され、次の操作ができます。

 - プログラムの消去 (Erase)
 - タイトルの入力・修正 (Enter Title)
 - プログラムの内容確認 (Properties)
 - プログラムのプロテクト設定・解除 (Protection)
 - プログラムの部分消去 (Partial Erase)
 - プログラムの分割 (Divide)

お知らせ：

- プログラムリストは、最大99のプログラムを表示できます。
- プログラムリストの内容は、ディスクに記録されています。

RAM

- ディスクにプロテクト設定をしたとき、プログラムの内容確認 (Properties) のみ実行することができます。他の項目を実行したいときは、プロテクトを解除してください。

DVD-R

- サブメニューにプログラムの部分消去 (Partial Erase)、プログラムの分割 (Divide) は表示されません。

サーチプログラム画面 (SEARCH PROGRAM) (つづき)

プログラムの消去 (Erase)

RAM DVD-R

一度消去したプログラムは、元に戻すことができません。また消去するプログラムから作られたプレイリストも、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

- (1) [SEARCH] ボタンを押す
- (2) [▲, ▼] ボタンで消去したいプログラムを選択する
- (3) [▶] ボタンを押して、メニューを開く
- (4) [▲, ▼] ボタンで “Erase” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (5) [◀] ボタンで “Erase” を選択する



- (6) [ENTER] ボタンを押す

途中で止めるには

手順 (5) で “Cancel” を選択し、[ENTER] または [RETURN] ボタンを押します。

お知らせ：

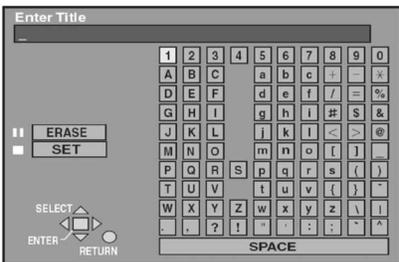
- 消去したプログラムが短いと、ディスクの録画残量が増えないことがあります。
- パソコンのデータは消去されません。
- DVD-Rは、プログラムを消去しても、録画残量は増えません。

タイトルの入力・修正 (Enter Title)

RAM DVD-R

“プログラムの消去” の手順 (1) ~ (3) の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Enter Title” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (5) タイトルの入力、修正を行なう



お知らせ：

- DVD-RAMは最大64文字、DVD-Rは最大44文字のタイトルを入力できます。
- DVD-Rをファイナライズするとタイトルに使用している文字のフォントサイズによっては、33文字以後が表示されないことがあります。
- プログラムリストにすべてのタイトルの文字が表示できないときは、“プログラムの内容確認 (Properties)” で表示させることができます。
- タイトルの入力の詳細は、“文字の入力” をご覧ください。(35ページ参照)

プログラムの内容確認 (Properties)

RAM DVD-R

選択したプログラムの内容を確認することができます。“プログラムの消去” の手順 (1) ~ (3) の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Properties” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
 - プログラムの内容を表示します



前の画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押します

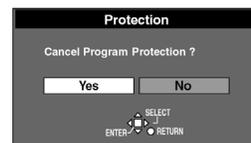
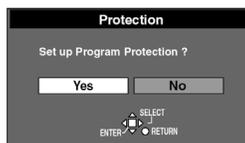
プログラムのプロテクト設定・解除 (Protection)

RAM

プログラムを誤って消去しないよう、プロテクト設定することができます。ただし、フォーマットしたときは、この設定をしても消去されます。

“プログラムの消去” の手順 (1) ~ (3) の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Protection” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (5) [◀] ボタンで “Yes” を選択し、[ENTER] ボタンを押す



マークが表示されます



マークが消えます

途中で止めるには

手順 (5) で “No” を選択し、[ENTER] または [RETURN] ボタンを押します。

サーチプログラム画面 (SEARCH PROGRAM) (つづき)

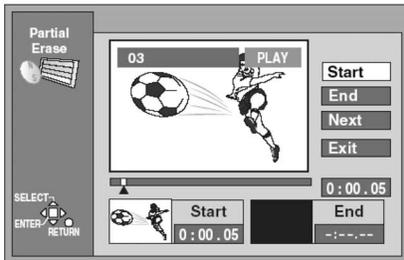
プログラムの部分消去 (Partial Erase)

RAM

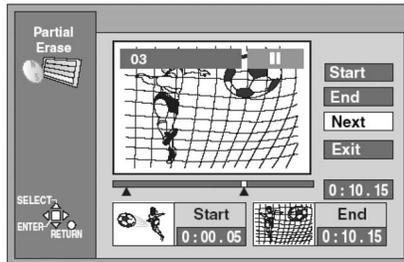
一度消去したプログラムは、元に戻すことができません。また消去するプログラムの部分から作られたプレイリストも、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

“プログラムの消去”の手順 (1) ~ (3) の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Partial Erase” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (5) 早送り再生やスロー再生などを使って、消去する部分の開始点 (Start) をさがし、[ENTER] ボタンを押す



- (6) 消去する部分の終了点 (End) をさがし、[ENTER] ボタンを押す



- (7) [▲, ▼] ボタンで “Exit” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- (8) [◀] ボタンで “Erase” を選択し、[ENTER] ボタンを押す
 - 消去するプログラムの部分から作られたプレイリストも、消去されます。



- 途中で止めるには
手順 (8) で “Cancel” を選択し、[ENTER] または [RETURN] ボタンを押します。

- 同じプログラムの別の部分を消去するには
手順 (7) で “Next” を選択し、手順 (8) を行います。その後手順 (5) ~ (8) を繰り返します。

お知らせ：

- 早送り再生やスロー再生などを使って開始/終了点をさがすこともできます。
- 開始点の前に終了点を設定することや、終了点の後に開始点を設定することはできません。
- 開始点と終了点との間が3秒以内のときは、設定できないことがあります。
- 録画した映像が静止しているとき、開始/終了点に設定できないことがあります。
- プログラムの終端になると、再生を一時停止にします。
- 消去した部分が短いと、ディスクの録画残量が増えないことがあります。
- 開始点と終了点をさがしている間は、[STOP ■] ボタンは使えません。

サーチプログラム画面 (SEARCH PROGRAM) (つづき)

プログラムの分割 (Divide)

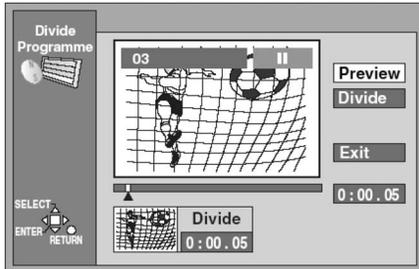
RAM

1つのプログラムを2つに分割します。

一度分割したプログラムは、元に戻すことができません。
分割してよいか確認してから行ってください。

“プログラムの消去” の手順 (1) ~ (3) の後、次の手順で操作してください。

- (4) [▲, ▼] ボタンで “Divide” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す
- (5) 早送り再生やスロー再生などを使って、分割する
点をさがし、[ENTER] ボタンを押す



- (6) [▲, ▼] ボタンで “Exit” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す
- (7) [◀] ボタンで “Divide” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す
 - プログラムが2つに分割されます。



■途中で止めるには

手順 (7) で “Cancel” を選択し、[ENTER] または [RETURN] ボタンを押します。

■分割点を変更するには

手順 (6) で “Divide” を選択し、その後手順 (5) ~ (7) を繰り返します。

■分割点を確認するには

手順 (6) で “Preview” を選択し、[ENTER] ボタンを押します。分割点の前後約 10 秒間が再生されます

お知らせ：

- 分割されたプログラムは、分割前のプログラムのタイトルや録画日などの情報が受け継がれます。
- 分割後、前半のプログラムは分割点付近の映像や音声の一部が欠けることがあります。
- 早送り再生やスロー再生などを使って分割点をさがすこともできます。
- 以下の場合では分割できないときがあります。
 - ・ 分割後のプログラムが非常に短いとき
 - ・ プログラムの合計がすでに99あるとき
- 分割点をさがしている間は、[STOP ■] ボタンは使えません。

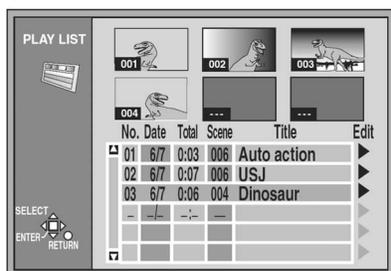
プレイリストの編集 (PLAY LIST)

録画されたディスクに対して以下の機能を使用することができますが、新規作成以外の機能はプレイリストが作成されていないディスクでは動作しません。

プレイリスト表示 (PLAY LIST)

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - プレイリスト画面が表示されます。



■ 画面を閉じるには

[RETURN]ボタンを押します

■ プレイリスト画面での操作

- プレイリストの新規作成
- プレイリストの再生
- シーンの再生 (Play Scenes)
- シーンの追加、移動、再編集、削除 (Edit)
- プレイリストのコピー (PL Copy)
- プレイリストの消去 (PL Erase)
- プレイリストのタイトル入力 (Enter Title)
- プレイリストの内容確認 (Properties)

Play Scenes

Edit

PL Copy

PL Erase

Enter Title

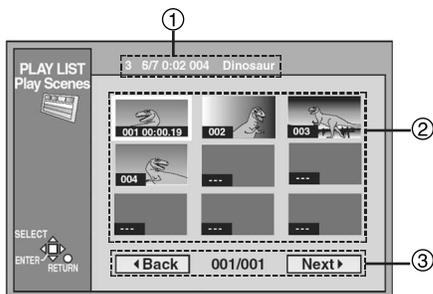
Properties

お知らせ：

ディスクプロテクトされているときは、表示以外の操作はできません。

プレイリストシーン画面について

RAM



① プレイリスト情報

プレイリスト番号、作成日、総時間、シーン数、タイトル (入力時のみ) を表示します。

② シーン

1つのページに、9つのシーンを表示します。

③ ページ表示

9以上のシーンがあるとき、[▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで、“◀Back”または“Next▶”を選択し、[ENTER]ボタンを押すと、前または次のページを表示します。

お知らせ：

選択しているシーンは、シーン時間を表示します。

プレイリストの新規作成 (CREATE PLAY LIST)

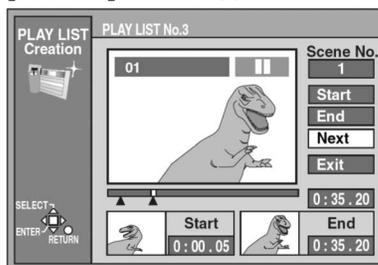
RAM

録画したプログラムから必要なシーンを集めたリストを作り、それらを連続再生することができます。プレイリストを作成してもディスクの容量はほとんど減少しません。

- (1) 停止中、[MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“CREATE PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) 早送り再生やスロー再生などを使って、作成する部分の開始点 (Start) をさがし、[ENTER]ボタンを押す



- (4) 作成する部分の終了点 (End) をさがし、[ENTER]ボタンを押す



- (5) [▲, ▼]ボタンで“Exit”を選択し、[ENTER]ボタンを押す

■ 途中で止めるには

[RETURN]ボタンを押します。

■ 画面を閉じるには

[RETURN]ボタンを押します。

■ 他のシーンを集めるには

手順 (4) で “Next” を選択し、[ENTER]ボタンを押します。その後手順 (3) ~ (4) を繰り返します。

お知らせ：

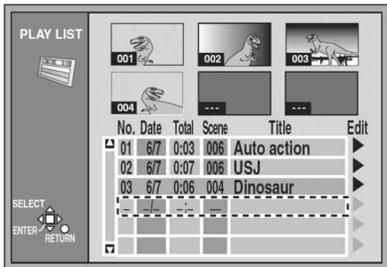
- 早送り再生やスロー再生などを使って操作することもできます。
- 最大99のプレイリストの作成と、最大999のシーンの登録ができます。これらの数は、状態によって減ることがあります。
- 開始点、終了点をさがしている間は、[STOP■]ボタンは使えません。
- 開始点の前に終了点を設定することや、終了点の後に開始点を設定することはできません。
- 開始点を設定せずに終了点のみを設定したとき、プログラムの先頭が開始点になります。同様に、終了点を設定せずに開始点のみを設定したとき、プログラムの終端が終了点になります。
- 他の機器で録画された静止画像は、開始点や終了点を設定できないことがあります。
- 録画されているすべてのプログラムの終端になると、再生を一時停止にします。
- プレイリストの新規作成は“CREATE PLAY LIST”を選択する以外に、プレイリスト画面の最後に表示された“No”が“-”と表示されたリストを選択しても行なうことができます。

プレイリストの編集 (PLAY LIST) (つづき)

プレイリストの再生

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンで再生したいプレイリストを選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - 選択したプレイリストが再生されます
 - 6番目以降のプレイリストは、[▼]ボタンを繰り返して押すと表示されます。



- プレイリスト再生を停止するには [■]ボタンを押します。
 - プレイリスト画面が表示されます。

お知らせ：

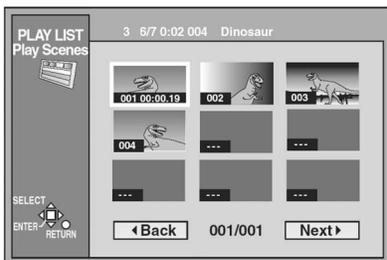
プレイリスト再生中は、表示パネルに録画モードは表示されません。

シーンの再生 (Play Scenes)

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンで再生したいシーンを含むプレイリストを選択し、[▶]ボタンを押す
- (4) [▲, ▼]ボタンで“Play Scenes”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (5) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで再生したいシーンを選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - 選択されたシーンを再生します。

Play Scenes
Edit
PL Copy
PL Erase
Enter Title
Properties



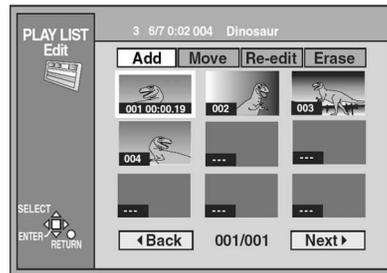
- シーンの再生を停止するには [■]ボタンを押します。
 - プレイリスト シーン画面が表示されます。

- 10番目以降のシーンを表示させるには 手順(5)で“Next 1”を選択し、[ENTER]ボタンを押します。

シーンの追加 (Add)

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンでシーンを追加したいプレイリストを選択し、[▶]ボタンを押す
- (4) [▲, ▼]ボタンで“Edit”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (5) [◀, ▶]ボタンで“Add”を選択し、[ENTER]ボタンを押す



- (6) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンでシーンを追加したい所を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (7) 早送り再生やスロー再生などを使って、追加するシーンの開始点 (Start) をさがし、[ENTER]ボタンを押す



- (8) 追加するシーンの終了点 (End) をさがし、[ENTER]ボタンを押す
- (9) [▲, ▼]ボタンで“Exit”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - 手順(5)の画面が表示されます。

- 前の画面に戻るには [RETURN]ボタンを押します。

- 他のシーンを追加するには
 - (1) 手順(8)の後、[▲, ▼]ボタンで“Next”を選択し、[ENTER]ボタンを押します。
 - (2) 手順(7)と手順(8)を繰り返します。

お知らせ：

早送り再生やスロー再生などを使って編集することもできます。

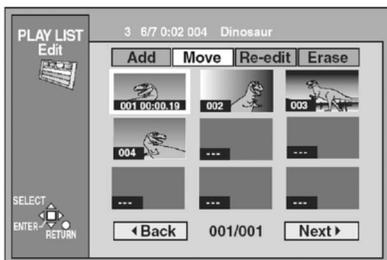
プレイリストの編集 (PLAY LIST) (つづき)

シーンの移動 (Move)

RAM

“シーンの追加” の手順 (1) ~ (4) の後、次の手順で操作してください。

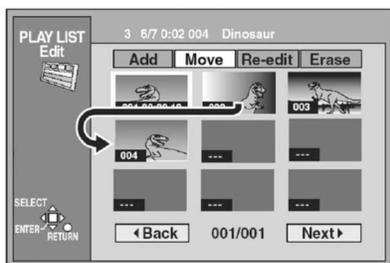
- (5) [◀, ▶] ボタンで “Move” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す



- (6) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで移動するシーンを選択し、
[ENTER] ボタンを押す

- (7) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで移動先のシーンを選択し、
[ENTER] ボタンを押す

- 手順 (6) で選んだシーンを、移動先のシーンの前に移動します。



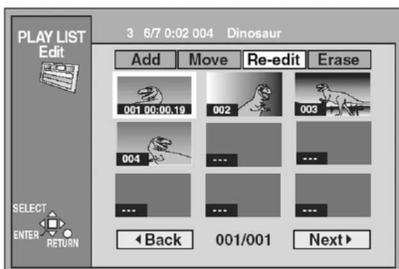
- 他のシーンを移動するには
手順 (6) と手順 (7) を繰り返します。

シーンの再編集 (Re-edit)

RAM

“シーンの追加” の手順 (1) ~ (4) の後、次の手順で操作してください。

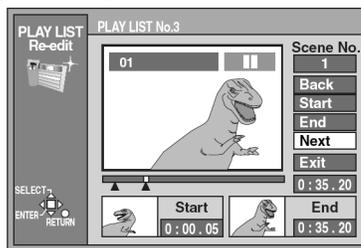
- (5) [◀, ▶] ボタンで “Re-edit” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す



- (6) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで再編集したいシーンを選択し、
[ENTER] ボタンを押す

- (7) 早送り再生やスロー再生などを使って、
追加するシーンの開始点 (Start) をさがし、
[ENTER] ボタンを押す

- (8) 追加するシーンの終了点 (End) をさがし、
[ENTER] ボタンを押す



- (9) [▲, ▼] ボタンで “Exit” を選択し、
[ENTER] ボタンを押す

■ 他のシーンを再編集するには

- (1) 手順 (8) の後、[▲, ▼] ボタンで “Next” または
“Back” を選択して [ENTER] ボタンを押し、再編集
するシーンを選びます。

- (2) 手順 (6) から手順 (8) を繰り返し、他のシーンを再
編集します。

お知らせ：

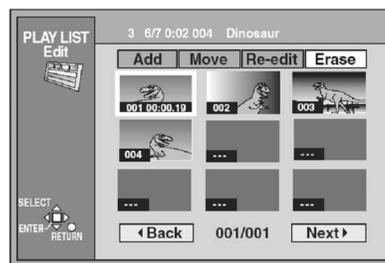
- 開始点の前に終了点を設定することや、終了点の後に
開始点を設定することはできません。
- 早送り再生やスロー再生などを使って、編集すること
もできません。

シーンの消去 (Erase)

RAM

“シーンの追加” の手順 (1) ~ (4) の後、次の手順で操作
してください。

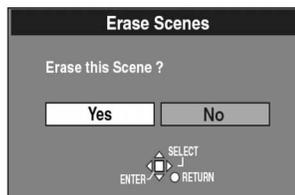
- (5) [◀, ▶] ボタンで “Erase” を選択し、[ENTER]
ボタンを押す



- (6) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで消去したいシーンを選択し、
[ENTER] ボタンを押す

- (7) [◀] ボタンで “Yes” を選択し、[ENTER] ボタ
ンを押す

- 選択したシーンが、プレイリストから消去されます。



- 他のシーンを消去するには
手順6と手順7を繰り返します。

■ 途中で止めるには

- 手順7で “No” を選択し、[ENTER] または [RETURN]
ボタンを押します。

お知らせ：

- すべてのシーンを消去すると、そのプレイリスト自身も
消去されます。

プレイリストの編集 (PLAY LIST) (つづき)

プレイリストのコピー (PL Copy)

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンでコピーするプレイリストを選択し、[▶]ボタンを押す
- (4) [▲, ▼]ボタンで“PL Copy”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (5) [◀]ボタンで“Yes”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - プレイリストの最後にコピーされます。



途中で止めるには

手順(5)で“No”を選択し、[ENTER]または[RETURN]ボタンを押します。

プレイリストの消去 (PL Erase)

RAM

消去したプレイリストは、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンで消去するプレイリストを選択し、[▶]ボタンを押す
- (4) [▲, ▼]ボタンで“PL Erase”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (5) [◀]ボタンで“Yes”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
 - プレイリストが消去されます。



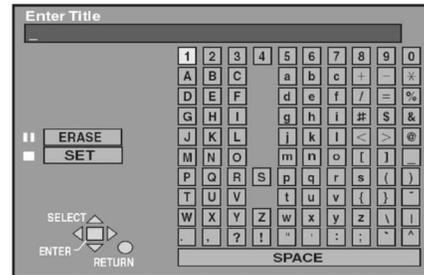
途中で止めるには

手順(5)で“No”を選択し、[ENTER]または[RETURN]ボタンを押します。

プレイリストのタイトル入力 (Enter Title)

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンでタイトル入力するプレイリストを選択し、[▶]ボタンを押す
- (4) [▲, ▼]ボタンで“Enter Title”を選択し、[ENTER]ボタンを押す



(5) タイトルの入力を行なう

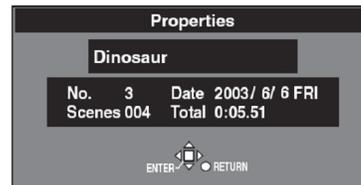
お知らせ:

- 最大64文字のタイトルを入力できます。
- プレイリスト画面で、すべてのタイトルの文字が表示できないときは、“プレイリストの内容確認 (Properties)”で表示させることができます。
- タイトルの入力の詳細は、“文字の入力”をご覧下さい。(35ページ参照)

プレイリストの内容確認 (Properties)

RAM

- (1) [MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“PLAY LIST”を選択し、[ENTER]ボタンを押す
- (3) [▲, ▼]ボタンで内容確認するプレイリストを選択し、[▶]ボタンを押す
- (4) [▲, ▼]ボタンで“Properties”を選択し、[ENTER]ボタンを押す

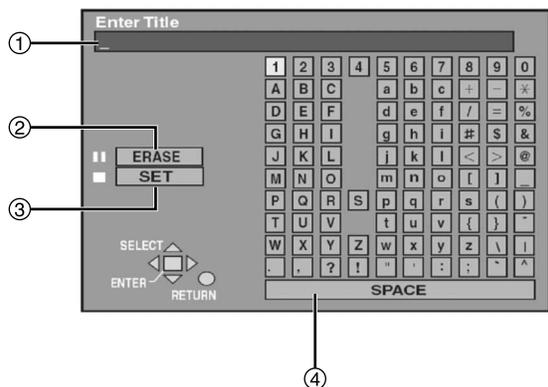


文字の入力

RAM DVD-R

- MENU画面の“DISC INFORMATION”でディスクのタイトルが入力できます。
- サーチ画面で、プログラムのタイトルが入力できます。
- PLAY LIST画面で、プレイリストのタイトルが入力できます。

- (1) 録画されたディスクを入れ、“DISC INFORMATION”, “SEARCH PROGRAM”, “PLAY LIST” いずれかの、タイトル入力画面を開く
- (2) タイトル入力画面(Enter Title)を表示させて [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで入力したい文字を選択し、[ENTER] ボタンを押す
 - 選んだ文字が入力されます。



- ① タイトル表示欄 (入力した文字が表示されます)
- ② ERASE [■] (文字を消去するとき)
- ③ SET [■] (タイトル入力を終了するとき)
- ④ SPACE (空白文字 (スペース) を入力するとき)

■ 文字を続けて入力するには

手順 (1) と (2) の後、次の操作をしてください。

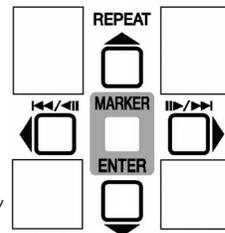
- (3) [■] ボタンを押す (または [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで “SET” を選択し、[ENTER] ボタンを押す)
 - タイトルが入力され、もとの画面に戻ります。

■ 途中で止めるには

[RETURN] ボタンを押します。
(タイトルは入力されません)

■ タイトルの入力

- 文字を入力するには [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで、入力したい文字を選択し、[ENTER] ボタンを押す
- 文字を消すには [■] ボタンを押す (または、[▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで “ERASE” を選択し、[ENTER] ボタンを押す)
- タイトルの入力を終了するには [■] ボタンを押す (または、[▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで “SET” を選択し、[ENTER] ボタンを押す)



■ 文字を修正するには

- (1) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンでタイトル表示欄の修正したい文字を選択する。
- (2) [■] ボタンを押す (または、[▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで “ERASE” を選択し、[ENTER] ボタンを押す)
- (3) [▲, ▼, ◀, ▶] ボタンで正しい文字を選択し、[ENTER] ボタンを押す

お知らせ：

- カートリッジ、ディスク、プログラムがプロテクト設定されていると、タイトルは入力できません。プロテクトを解除してください。
- 入力したすべての文字が表示できないときは、“プログラムの内容確認 (Properties)” や “プレイリストの内容確認 (Properties)” で表示させることができます。

初期設定の変更 (SETUP)

操作方法

初期設定 (設定項目参照) の変更が必要なとき、次の手順に従ってください。

- (1) 停止中、[MENU (SHIFT + SEARCH)]ボタンを押す
- (2) [▲, ▼, ◀, ▶]ボタンで“SETUP”を選択し、[ENTER]ボタンを押す

① 大項目

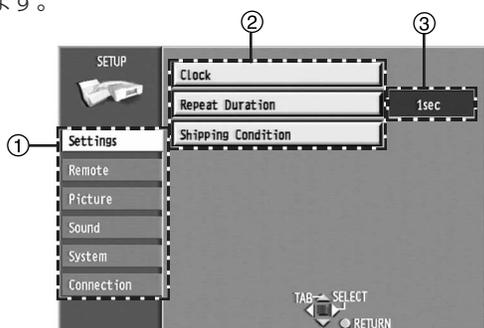
SETUPメニューには、設置 (Settings)、外部制御 (Remote)、映像 (Picture)、音声 (Sound)、システム (System)、接続 (Connection) の6つの大項目があります。

② 項目

各大項目ごとに、それに関連した項目が表示されます。

③ 設定値

現在、設定されている値が表示されます。他の設定値は、それぞれの選択を行なうときに表示されます。



- (3) [▲, ▼]ボタンで“大項目”を選択し、[◀]または[▶]ボタンを押す

- (4) [▲, ▼]ボタンで“項目”を選択し、[ENTER]ボタンを押す

- (5) [▲, ▼]ボタンで“設定値”を選択し、[ENTER]ボタンを押す

- 操作方法が異なる項目もあります。その場合、画面の指示にしたがって操作してください。

■ 前の画面に戻るには

[RETURN]ボタンを押します。

- 設定を変更しても、[ENTER]ボタンを押さないと受け付けられません。

お知らせ：

- SETUPメニュー画面を閉じると、変更後の設定が確定されます。
- 設定内容は、電源を切っても保持されます。

設定項目

下線がある項目は、工場出荷時の設定です。

PLAY : 再生時に有効な項目

REC : 録画時に有効な項目

■ Settings (設置)

Clock (時刻設定) (15ページ参照)

内蔵の時計を合わせます。
(時/分/秒/年/月/日/タイムゾーン)

Repeat Duration (リピート時間) **PLAY**

インスタントリピート機能を実行したときの、繰り返し区間の時間を設定します。

[1sec] [2sec] [3sec] [4sec] [5sec]

[10sec] [20sec] [30sec]

Shipping Condition (設定の初期化) (15ページ参照)

SETUPメニューのすべての設定を工場出荷設定に戻すことができます。(ただしこの操作を行っても、TVシステム、時刻設定の日時は初期化されません。)

[Yes] [No]

■ Remote (外部制御)

PAUSE REMOTE (ポーズリモートの制御モード)

ポーズリモート端子の制御方法を選択します。

[Low Edge] [High Edge] [Low Level]

Low Edge:

Low Edge信号で、録画のスタート/ポーズを制御します。

High Edge:

High Edge信号で、録画のスタート/ポーズを制御します。

Low Level:

信号がLowの期間に、録画を行います。Highの期間は録画一時停止になります。

Baud Rate (ボーレート)

RS-232C端子による通信の速度(bit/s)を設定します。

[1200] [2400] [4800] [9600] [19200]

Bit Length (ビット長設定)

RS-232C端子による通信のデータ長を設定します。

[7bit] [8bit]

Stop Bit (ストップビット長)

RS-232C端子による通信のストップビットを設定します。

[Stop-1] [Stop-2]

Parity (パリティ)

RS-232C端子による通信のパリティチェックを設定します。

[Even] [Odd] [None]

Protocol (プロトコル)

RS-232C端子及びUSB端子による通信のプロトコルを選択します。

[DVD] [VTR1] [VTR2]

DVD:

LQ-MD800標準のプロトコルを選択します。

VTR1:

AG-MD830/MD835と互換性の高いプロトコルを選択します。

VTR2:

他社製品と互換性の高いプロトコルを選択します。

お知らせ：

選択しているプロトコル (Protocol) によって、本機の動作が変わることがあります。

初期設定の変更 (SETUP) (つづき)

Picture (映像)

Rec Mode (録画モード) **REC** (15ページ参照)

[XP] [SP] [LP]

Input Select (入力選択) **REC**

映像入力を選択します。

[V(VIDEO)] [SV(S-VIDEO)] [DV]

3-D Y/C Separation (NTSC) (Y/C分離)

[ON] [OFF]

On : 3次元のY/C分離を行います。

Off : 2次元のY/C分離を行います。

Hybrid VBR Resolution (ハイブリッドVBR) **REC**

DVD-RAMに録画する映像のなめらかさを設定します。

[Automatic] [Fixed]

Automatic (自動切換) :

映像の動きに応じて、解像度を自動的に切り換えて録画します。

(動きの速い映像では解像度調整して、ブロックノイズを減らします。)

Fixed (固定) :

映像の解像度を固定して録画する。

(動きの速い映像も遅い映像も、高い解像度で録画します。)

Still Mode (スチルモード) **PLAY**

再生一時停止をしたときの静止画像の表示方法を選択します。

[Automatic] [Field] [Frame]

Automatic (オートマチック) :

フレームスチルモードとフィールドスチルモードを自動的に切り換えます。

Field (フィールド) :

垂直解像度が低い静止画像に固定します。

“Automatic” 設定で映像にブレを生じるときや、動きのある映像のとき選択します。

Frame (フレーム) :

垂直解像度が高い静止画像に固定します。

“Automatic” 設定で、細かな文字や模様が見えないとき選択します。

Seamless Play (シームレス再生) **PLAY**

プレイリストのシーンのつなぎ目を再生する状態が選べます。

[On] [Off]

On :

シーンのつなぎ目をなめらかに再生しますが、つなぎ目の位置がずれることがあります。(リニアPCMで録画されたプログラムやシーンごとに音声異なる場合、スムーズな再生はできません。また、プレイリストの設定によって機能しないときがあります。)

Off :

シーンのつなぎ目を精度よく再生しますが、つなぎ目で画像が一瞬止まることがあります。

Black Level Control (NTSC) (ブラックレベル調整)

入出力信号に適したブラックレベルを、標準 (Normal)、明るい (Lighter)、暗い (Darker) から選択します。

Input Level (入力レベル)

入力信号のブラックレベルに合わせます。通常 “Lighter” を選択します。

[Lighter] [Darker]

Composite & S-Video Output Level

(コンポジット・S映像出力レベル)

VIDEO OUT (コンポジット) 端子やS-VIDEO OUT端子から出力される信号のブラックレベルを選びます。通常 “Darker” を選択します。

[Lighter] [Darker]

Component Video Output Level

(コンポーネント出力レベル)

Y/Pb/Pr (コンポーネント) 端子から出力される信号のブラックレベルを選びます。通常 “Normal” を選択します。
[Lighter] [Normal] [Darker]

お知らせ :

- 入力信号のブラックレベルが7.5IREに設定されているときは、“入力レベル” は “Darker” に、“コンポジット・S映像出力レベル” は “Lighter” に、“コンポーネント出力レベル” は “Normal” に設定します。
- TVシステムが “NTSC” に設定されているとき有効です。

Sound (音声)

Audio during Search (早送り時の音声出力) **PLAY**

1段階目の早送り再生時に再生音を出力するかどうかを選択します。

[On] [Off]

Dynamic Range Compression

(ダイナミックレンジ圧縮) **PLAY**

DVD

音量を絞って再生したとき、聞きやすいように調整します。(ドルビーデジタル時 “Dynamic Range Compression” に対応したディスクのみ)

[On] [Off]

On : ダイナミックレンジ圧縮を行います。

Off : ダイナミックレンジ圧縮を行いません。

Bilingual Audio Selection

(二重放送音声記録) **REC** (11ページ参照)

DV入力端子の音声を、DVD-Rに記録するときやDVD-RAMにLPCMで記録するとき、入力された二重放送音声のうち、主音声・副音声のどちらを録音するか選択します。

[M1] [M2]

M1: 主音声

M2: 副音声

Audio Mode for XP/SP Recording

(記録音声モードの設定) **REC**

録画モードが “XP” または “SP” のときの、音声モードを選択します。録画モードが “LP” の時は、設定にかかわらずドルビーデジタルになります。

[Dolby Digital] [LPCM]

Audio Mode for DV Input

(DV入力時の音声の設定) **REC**

DV入力端子から録音するとき、音声の種類を選択します。

[Stereo 1] [Stereo 2] [Mix]

Stereo 1 (ステレオ1) :

音声 (L1、R1) を選択します。

Stereo 2 (ステレオ2) :

音声 (L2、R2) を選択します。一般に編集などであとから追加した音声 (ナレーションなど) が録音されます。

Mix (ミックス) :

ステレオ1とステレオ2の音声を合成して録音します。(L1+L2をCH1へR1+R2をCH2へ録音)

ただし、DV入力端子の音声を、DVD-Rに記録するときやDVD-RAMにLPCMで記録するとき、上記の「二重放送音声記録」に従った音声のみがステレオ1として記録されます。

(次ページへ続く)

初期設定の変更 (SETUP) (つづき)

Audio CH Assignment with Mic

(マイク接続時の音声割付) **REC**

マイクが接続されたとき、CH2に録音する音声入力を選択します。マイクが接続されると、CH1には常にマイクの音声が入力されます。

[CH1(A)] [CH2(B)] [Mix]

CH1(A):

AUDIO IN CH1(A)端子に入力された音声を選択します。

CH2(B):

AUDIO IN CH2(B)端子に入力された音声を選択します。

Mix:

AUDIO IN CH1(A) 端子とCH2(B)端子に入力された音声をミックスした信号を選択します。

System (システム)

On-Screen Status : Mode

(オンスクリーン表示 : モード)

操作時の表示を、自動的にテレビ画面に表示するかどうかを選択します。

[Automatic] [Off]

Automatic :

[Status] ボタンでステータス表示を消しているとき、ディスクの再生、停止などの操作を行なうと自動的に約5秒間ステータス表示を行ないません。

Off :

[Status] ボタンで、ステータス表示を消しているとき、ディスクの操作を行なってもステータス表示を行ないません。

On-Screen Status : Window Size

(オンスクリーン表示 : サイズ)

ステータス表示の表示サイズを選択します。

[Normal] [Small]

Normal : 5行表示

Small : 3行表示

On-Screen Status : Window Type

(オンスクリーン表示 : タイプ)

ステータス表示の表示位置を選択します。

[R - Upper] [L - Upper] [R - Bottom] [L - Bottom]

R - Upper : 画面の右上に表示

L - Upper : 画面の左上に表示

R - Bottom : 画面の右下に表示

L - Bottom : 画面の左下に表示

Program Write Protection **REC**

(プログラムの自動プロテクト)

録画後、作成したプログラムに自動的にプロテクトを設定するかどうかを選択します。

[Automatic] [Manual]

Automatic : 録画後、プロテクトを設定します。

Manual : 録画後、プロテクトを設定しません。

Beep (ブザー)

装置に異常が発生したとき、ブザー音を鳴らすかどうかを選択します。

[On] [Off]

お知らせ :

鳴り始めたブザー (Beep) を止めたいときは、フロントパネルの [POWER] ボタンと [REC] ボタン以外のボタンを押します。

Finalizing Speed (ファイナライズ時の書き込み速度)

ファイナライズ時の書き込み速度を選択します。

[1x] [4x]

1x :

1倍速書き込みを行ないます。

4x :

4倍速対応のディスクを使用時4倍速書き込みを行ないます。ファイナライズ時間を短縮できます。

Connection (接続)

TV Aspect (モニターテレビのアスペクト比設定)

(14ページ参照)

接続するモニターテレビのサイズ (横縦比) の機能にあわせて設定します。

[Norm (4:3)] [Wide (16:9)]

Progressive (NTSC) (プログレッシブ)

[On] [Off]

On :

コンポーネント映像入力端子を持った、NTSC方式 (480p) のモニターテレビを接続するとき選択します。

Off :

PAL方式のモニターテレビや、プログレッシブ対応していないNTSC方式 (480i) のモニターテレビを接続するとき選択します。

TV System (TVシステム)

[PAL] [NTSC]

PAL :

PAL方式の信号を録画するとき、PAL方式のモニターテレビを接続するとき、選択します。

NTSC :

NTSC方式の信号を録画するとき、NTSC方式のモニターテレビを接続するとき、選択します。

お知らせ :

TVシステムの変更を行なうときは、この設定のみを変更し画面を閉じてください。変更後は、電源を入れなおしてください。

Norm (4:3) TV Settings (DVD) **PLAY**

テレビのアスペクト比が4:3のテレビで、16:9の映像を写すときの、表示のしかたを選びます。

(ファイナライズ済みのDVD-Rを再生しているときの設定)

[Pan & Scan] [Letterbox]

パン&スキャン (Pan & Scan) :

左右の切れた映像 (パン&スキャン) で再生します。

ただし、パン&スキャンで再生することが指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。



レターボックス (Letterbox) :

上下に帯のある映像 (レターボックス) で再生します。



(次ページへ続く)

初期設定の変更 (SETUP) (つづき)

Norm (4:3) TV Settings (DVD-RAM) **PLAY**

テレビのアスペクト比が4:3のテレビで、16:9の映像を写すときの、表示のしかたを選びます。
(DVD-RAMを再生しているときの設定)
[Norm (4:3)] [Pan & Scan] [Letterbox]

Norm (4:3) :

録画された映像の横縦比で再生します。

パン&スキャン (Pan & Scan) :

左右の切れた映像 (パン&スキャン) で再生します。

レターボックス (Letterbox) :

上下に帯のある映像 (レターボックス) で再生します。

お知らせ :

TVシステムを変更するときは、停止中に、[STOP ■]ボタンと[OPEN/CLOSE ▲]ボタンを同時に5秒間押した後、電源を入れなおします。NTSCとPALが交互に切り換わります。

お手入れ・ディスクの取り扱い

本機は温度や湿度、ほこりなどの影響で録画や編集ができなくなったり、故障の原因となることがあります。きれいな音声・映像をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

お手入れ

■ 本体が汚れたとき

乾燥した柔らかい布でふいてください。

- アルコールやシンナー、ベンジンは使わないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書に従ってください。

■ 録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用していると、録画/再生用レンズにほこりなどが付着して正常に録画・再生できなくなる場合があります。

使用環境や使用回数にもよりますが、DVD-RAM/PDレンズクリーナー (47ページ参照) で約1年に一度、クリーニングすることをおすすめします。お手入れのしかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

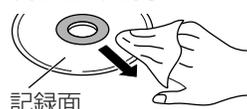
- お手入れが終わると、表示窓に“NO READ”が表示されます。
- お手入れ中に音がすることがありますが、本機の故障ではありません。

■ 汚れたときや、つゆがついたときは

- 必ず専用のDVD-RAM/PDディスククリーナー (47ページ参照) 付属のクリーニングクロスでふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をお読みください。
- 他の布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。
- ディスク中央部の穴周辺が削られ、白っぽい削りくずが付着することがあります。ディスククリーナー付属のクリーニングクロスで、削りくずが記録面に付着しないように、また削りくずで記録面をこすらないように取り除いてください。

記録面に傷をつけないために必ず以下のことを順守してください。

記録面をふくときは
内から外方向へふく



非記録面をふくときは
中央部の穴方向へふく



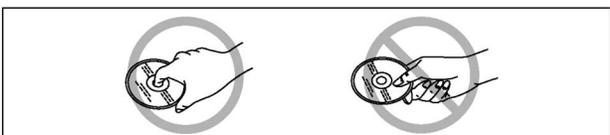
ディスクの取り扱い

ハート型など、特殊な形のディスクは、機器の故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。



■ ディスクの持ちかた

再生面や端子面には手を触れないでください。



■ 取扱上のお願ひ

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない (ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります)
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 以下のディスクを使わない
 - ・ シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク
 - ・ そっていたり、割れたりひびが入っているディスク

■ ディスクの保管

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

用語解説

インターレース／プログレッシブ出力

NTSC信号 (480i) はフィールドごとに交錯する480本の走査線 (i: 飛び越し走査) を持つのに対して、プログレッシブ信号 (480p) は2倍の走査線 (p: 順次走査) を持っています。コンポーネント出力端子 (Y, Pb, Pr) から出力されるプログレッシブ信号は、コンポジット出力やS-VIDEO出力端子に比べ、きれいな画像が得られます。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波 (アナログ信号) を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化 (デジタル信号化) することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

サーチプログラム (SEARCH PROGRAM)

録画したプログラムの一覧表で、直接プログラムを選択することができます。一覧表には入力端子、録画日時、プログラムのタイトルが表示されます。プログラムを選択しながら、再生をすることができます。

パン&スキャン／レターボックス

ワイドテレビ画面 (画面の横縦比が16:9) を前提に作られた映像を、横縦比が4:3のテレビ画面に映し出そうとすると、16:9の映像が4:3の画面におさまらなくなります。4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

パン&スキャン：映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



レターボックス：画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現します。

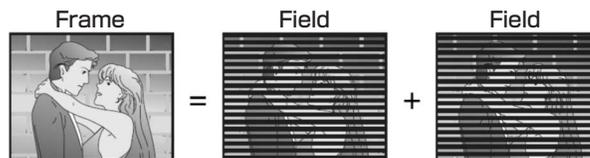


ファイナライズ

DVD-Rディスクを、互換性のあるDVDプレーヤーで再生できるようにする操作です。一度ファイナライズしたディスクには、録画することはできません。

フレーム／フィールド

フレームとは、モニターテレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画質は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイリスト

必要な映像を集めて、リストを作ることができます。また集められた映像は、連続して再生できるように編集したり、タイトルをつけたりすることができます。

プログラム (PG)

録画された映像・音声です。1回の録画 (録画開始と録画停止の区間) を1つのプログラムとします。

リニアPCM (LPCM)

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は2chで出力されます。録画モードXPまたはSPで録画する場合、LPCMで録音することができます。

ピクチャ・タイプ (I/P/B)

DVDではデータを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

- I-picture : 共用データの基準として単独で記録される画面
- P-picture : 過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられる画面
- B-picture : I/P両方を元につくられ、両者の間を埋める画面

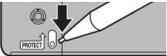
I-pictureの画質がもっとも良く、画質調節をするときは、I-pictureを選ぶことをおすすめします。

S映像出力

映像信号をカラー (C) 信号と輝度 (Y) 信号に分離してモニターテレビに送るため、より鮮明な画像が得られます。

エラー表示

モニターテレビ画面

表示内容	原因・対策
No Disc.	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが入っていないか、本機で使用できないディスクが入っています。 ディスクが裏返しになって入っています。 ディスクがトレイの正しい位置に載っていません。“プログラムの録画”の説明 にしたがって、正しく載せなおして下さい。
This is a non-recordable disc. Cannot record. This disc is not properly formatted. Formatting is necessary using DISC INFORMATION.	<ul style="list-style-type: none"> DVD-RAM、DVD-R以外のディスクやファイナライズ後のDVD-Rが入っています。 フォーマットされていないDVD-RAMが入っています。本機でフォーマットしてください。
This disc cannot be read.	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できないディスクが入っています。
Please check write protect tab on the disc.	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジのプロテクトを解除してください。 
Contents of this disc are protected.	<ul style="list-style-type: none"> プログラムが書き込み禁止になっています。“サーチプログラム”でプロテクトを解除してください。 ディスクが書き込み禁止になっています。“DISC INFORMATION” でプロテクトを解除してください。
Cannot finish recording completely.	<ul style="list-style-type: none"> 録画したプログラムに録画禁止信号が含まれています。 ディスクがいっぱいになったので記録できません。 異常が発生したため、記録が完了できません。
Copying of this material is not allowed.	<ul style="list-style-type: none"> 入力している信号に録画禁止信号が含まれています。
Cannot play.	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに映像が録画されていないため、再生できません。
Cannot record on the disc.	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに傷がついています。他のディスクをお使いください。 ディスクが汚れています。“ディスクの取り扱い”の説明に従って、きれいにしてください。 本機で使用できないディスクが入っています。
Cannot record to the disc. TV system of input signal is different to the setting in SETUP.	<ul style="list-style-type: none"> “SETUP”のTV systemと入力信号が異なるため記録できません。
Disc is full.	<ul style="list-style-type: none"> ディスクがいっぱいになったので記録できません。不要なプログラムを消すか、新しいディスクをお使いください。
This disc may not be played in your region.	<ul style="list-style-type: none"> 本機は、本機で記録しファイナライズしたDVD-Rを再生できますが、市販DVD-Videoは、再生しないでください。
Error has occurred. Please press ENTER.	<ul style="list-style-type: none"> [ENTER]ボタンを押してください。復旧動作を開始します。表示パネルの表示が消えたら、電源を一度切って再度入れます。復旧動作中は操作ができません。
Please check the disc.	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに傷や汚れがないか確認してください。
Please change the disc.	<ul style="list-style-type: none"> [OPEN/CLOSE ▲]ボタンを押して、ディスクを交換してください。(電源は自動的に切れます。) 再生や録画を続ける場合は、電源を一度切って再度入れた後、他のディスクを入れてください。
Finalizing is necessary for compatible playback.	<ul style="list-style-type: none"> 互換性のあるDVDプレーヤーで再生できるようにするために、ファイナライズを行ってください。
Please check write protect tab.	<ul style="list-style-type: none"> DVD-RAMのプロテクトを解除してください。
Character set of the disc is different. Cannot enter title.	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに記録されているキャラクターセットが日本国内仕様と異なるため操作できません。
Character set of the disc is different. This program cannot be edited.	
Character set of the disc is different. This play list cannot be edited.	
Character set of the disc is different. Cannot finalize.	
No folder.	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応したフォルダがありません。
⊙	<ul style="list-style-type: none"> ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

エラー表示 (つづき)

表示パネル

表示内容	原因・対策
NO READ	<ul style="list-style-type: none">• ディスクに傷がついています。他のディスクをお使いください。• ディスクが汚れています。“ディスクの取り扱い”の説明にしたがって、きれいにしてください。• ディスクがトレイの正しい位置に載っていません。“プログラムの録画”の説明にしたがって、正しく載せなおして下さい。• 本機で使用できないディスクが入っています。ディスクを交換してください。• DVD-RAM/PDレンズクリーナでクリーニングをしている場合は、完了後取り出してください。
NO PLAY	<ul style="list-style-type: none">• ディスクに映像が録画されていないため、再生できません。再生できるディスクを入れてください。
UN SUPPORT	<ul style="list-style-type: none">• 本機で録画・再生できないディスクが入っています。録画・再生できるディスクを入れてください。
OVER TEMP	<ul style="list-style-type: none">• 本機の内部温度が上昇しています。 →安全のため強制的に機能が停止し、動作させることができません。この表示が消えるまで（約30分間）放置し、電源を一度切り、再度入れてください。 →できるだけ風通しのよいところに設置してください。 →底板の通風孔、後面の冷却用ファンをふさがないでください。
CHECK BATTERY	<ul style="list-style-type: none">• 内蔵の時計用バッテリーの残量が少なくなりました。 →バッテリー交換が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
FAN LOCK	<ul style="list-style-type: none">• リアパネルに取り付けられたファンが停止しています。 →約5分経過すると安全のため機能が停止します。
ERR FAN LOCK	<ul style="list-style-type: none">• リアパネルに取り付けられたファンが停止したので安全のため機能が停止しました。ファンに異物があるときは電源を切り、異物を取りのぞいてください。また、電源を入れなおしても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
U99	<ul style="list-style-type: none">• 本機が正常に動作しません。一度電源を切り、再度入れてください。
ERR DRIVE ERR ENCODER	<ul style="list-style-type: none">• 録画・再生中の映像、音声が一時的に不安定になりました。映像が乱れたり数秒間録画されていない可能性があります。 他のディスクに交換するか、ディスクの汚れを取り除いてください。頻繁に発生する場合は、一度本機の電源を切り、再度入れてください。

アラーム

ブザー (Beep) の設定を [On] にしている場合、何らかの原因で正しく録画できないなどのエラーが発生すると、内蔵のブザーで警告します。原因によってはブザーがならないこともあります。

故障かな？

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らない場合や、以下に記されていない症状の場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

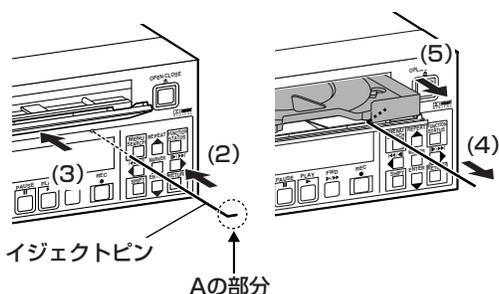
電源

電源が入らない	電源プラグがコンセントから外れている。
電源が自動的に切れる	各種安全装置が動作している。 →本体の [POWER] ボタンを押して電源を切り、約1分後再び [POWER] ボタンを押して電源を入れてください。“OVER TEMP”が表示されたときは、本ページの「エラー表示」をご覧ください。

故障かな？ (つづき)

ボタン操作

操作できない	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 • 本体内部の温度が上昇している。(表示窓に“OVER TEMP”が点灯) → 42ページの“OVER TEMP”をご覧ください。 • 各種安全装置が動作している。 → 本体の [POWER] ボタンを押して電源を切り、約1分後再び [POWER] ボタンを押して電源を入れてください。 • [MODE LOCK]スイッチがONになっている。→ OFFにしてください。 • エラー表示がされている。 • “⊙”が表示される場合は、ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
ディスクを取り出すとき時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • プログラムのプロテクトの変更やマーカーの追加、消去をしたときは、ディスクの取り出しに約10秒かかることがあります。
ディスクが取り出せない	<ul style="list-style-type: none"> • [SHIFT]ボタンと[OPEN/CLOSE ▲]ボタンを同時に5秒間押しと、トレイが出てきます。ディスクを取り出した後は電源を入れなおしてください。 • 上記の操作で取り出せない場合は、付属のイジェクトピンを使ってディスクを取り出します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本機の電源が切れていることを確認する。 (電源が入っていると本機が壊れることがあります。) (2) イジェクトピン(付属)を強制イジェクトホールに挿入し、水平に奥まで押し込んでトレイのロックを解除する。その後、イジェクトピンは抜く。 (3) シャッターの下部を押してシャッターを開く (4) イジェクトピンのAの部分(図参照)をトレイの底面にひっかけてトレイを1 cmから2 cm引き出す。 (5) トレイを手で水平にゆっくり引き出す。 • 故障の原因となりますので、通常は使用しないで下さい。 • トレイを戻すときは、電源を入れて[OPEN/CLOSE ▲]ボタンを押してください。(電源を入れると同時にトレイが戻ることもあります。)



表示パネル

時刻表示が“--:--”になっている	<ul style="list-style-type: none"> • 時計が設定されていない。
レンズクリーナを使用した後、“NO READ”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • DVD-RAM/PDレンズクリーナを取り出して下さい。

映像

映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> • モニターテレビの入力切り換えが正しくない。 • プログレッシブ映像に対応していないモニターテレビで、プログレッシブ信号を出力するように設定した。 → [STOP ■]ボタンと[RETURN]ボタンを同時に5秒間押しした後、電源を入れなおしてください。 • 本機のTVシステム (NTSC/PAL) とテレビのTVシステムが異なっている。 → 停止中に[STOP ■]ボタンと[OPEN/CLOSE ▲]ボタンを同時に5秒間押ししてください。TVシステムが切り換わります。切り換え後は、電源を入れなおしてください。(NTSCの時はPALへ、PALの時はNTSCへ設定が切り換わります。)
画面が正しいサイズで表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • テレビの設定を確認する。 • “TV Aspect”, “Norm (4:3) TV Settings (DVD)”, “Norm (4:3) TV Settings (DVD-RAM)”を確認する。
画面メッセージがでない	<ul style="list-style-type: none"> • “On-Screen Messages”を“Automatic”にするか、[STATUS]ボタンを押して、メッセージを表示させる。
残像が多い	<ul style="list-style-type: none"> • 詳細画質設定で“3D NR”, “Block NR”, “Mosquito NR”をOにするか、“DNR”をOFFにする。
タイトルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 日本国内仕様以外のDVDレコーダーで録画されたディスクは、タイトルが表示されないことがあります。

プログレッシブ映像

映像の一部が二重にぶれて見える	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の故障ではなく、ディスク側の映像の状態によるものです。 → “Progressive”をOFFにしてください。
画質の調整をしても映像が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> • 映像により、効果が得られない場合があります。

故障かな？ (つづき)

音声

音が出ない 音が小さい 音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続されていない。アンプに接続しているときはアンプの入力切り換えやボリュームも確認する。 録画時の音声入力レベルがおかしい。 →フロントパネルの“Audio REC Level control CH1/MIC, CH2”を調整してください。
聞きたい音声が出力されない	<ul style="list-style-type: none"> “Bilingual Audio Selection”を正しく設定し録音してください。 DVD-R リニアPCMやDVD-R録画したときは、音声切り換えができません。

再生

<ul style="list-style-type: none"> [PLAY▶]ボタンを押しても再生できない 再生がすぐに停止する “NO READ”, “UN SUPPORT”, “NO DISC”, “NO PLAY” のいずれかが表示される 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの表裏が逆の状態に入っています。 本機は、DVD-RAM, DVD-Rとファイナライズ済みのDVD-R以外は再生できません。 ディスクに大きな傷や汚れ、そりがある。 録画されていないDVD-RAMやDVD-Rが入っている。
早送り／巻戻し再生時、映像がゆがむ	<ul style="list-style-type: none"> 多少映像がゆがむことがありますが、本機の故障ではありません。
“soundtrack”や“subtitle”が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で録画したDVD-RAM, DVD-Rの“soundtrack”や“subtitle”は切り換えられません。
字幕が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で録画したディスクには字幕は収録されません。
インスタントリピート再生できない	<ul style="list-style-type: none"> プレイリスト再生時には、インスタントリピート再生はできません。

録画

録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが入っていないか録画できないディスクが入っているときは、録画可能なディスクを入れてください。 カートリッジやディスクにプロテクト設定されているときは解除してください。 ディスクの残量が少ないときは、不要なプログラムを消すか、新しいディスクをお使いください。 録画制限のある映像は録画できません。 ディスクがフォーマットされていないときは、録画の前に本機でフォーマットしてください。 RAM ファイナライズ後のDVD-Rには録画できません。 入力映像と本機のTVシステムが異なるときや、異なるTVシステムで録画されたディスクには録画できません。同じTVシステムを使用してください。 ディスクの挿入や電源のON/OFFを数多く繰り返すと、録画(精度の高い録画のため調整が必要)できなくなることがあります。また複数(8台程度)のDVDレコーダで、ディスクの再生・記録をすると録画できなくなります。 DVD-R
録画時間が実際より少なく表示される	<p>実際の録画時間より少なく表示されることがありますが、実際の録画には影響はありません。</p>
残量時間が実際より少なく(多く)表示される	<p>残量時間はディスクの空き時間の目安です。正確な残量を表示できません。</p>
ディスクのすべてのプログラムを消しても、録画可能な時間が増えない	<ul style="list-style-type: none"> 録画可能な時間は、コンピュータ用のDVD-RAMドライブで消去した場合は増えません。 増やしたい場合は、ディスクをフォーマットしてください。 ディスクが汚れているときは、フォーマットの前にDVD-RAM/PDディスククリーナーで汚れをふき取ってください。 DVD-Rは録画したプログラムを消しても、録画可能な時間は増えません。
録画したプログラムの一部またはすべてが消失した	<ul style="list-style-type: none"> 録画中に停電したり電源コード抜いたりして電源が切れると、プログラムが消失したりディスクが使えなくなる場合があります。録画中は、絶対に電源を切らないで下さい。 →消失したプログラムやディスクは保証できません。新しいディスクをお使いください。

故障かな？ (つづき)

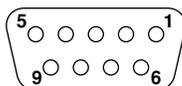
外部制御

外部制御できない	<ul style="list-style-type: none">• 本機と制御側との接続を確認してください。• メニュー画面などが開いているときは、閉じてください。 [PAUSE REMOTE] <ul style="list-style-type: none">• 制御方法を確認し、SETUPメニューの“Mode”を正しく設定してください。 [RS-232C] <ul style="list-style-type: none">• ボーレートなどのパラメータを確認し、SETUPメニューの外部制御(Remote)にある各設定を正しく合わせてください。• RS-232Cケーブルには、ストレート接続タイプやクロス接続タイプなどがあります。本機と制御側の仕様に合わせてケーブルを使ってください。 [USB] <ul style="list-style-type: none">• 制御用コンピュータにUSBドライバーがインストールされているか確認してください。
----------	---

ディスク使用時に周期的な動作音 (ディスクの回転音) がしますが、本機の故障ではありません。

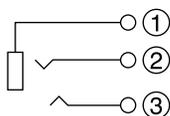
コネクター信号

RS-232C (D-Sub 9ピンメス型)



ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	N.C.	6	DSR
2	TXD	7	RTS (Shorted to 8)
3	RXD	8	CTS (Shorted to 7)
4	N.C.	9	N.C.
5	SG		

PAUSE REMOTE (ステレオミニジャック)



ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	GND	3	PAUSE CONTROL
2	PAUSE STATUS		

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。

この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談はまず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容によりお近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読み頂いた上、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、DVD-RAMドライブは消耗部品ですので、対象外とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、この“DVDビデオレコーダー”の補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期的なメンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

消耗・磨耗部品などの劣化、ごみ、ほこりの付着などにより、突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス（消耗）部品は、以下のとおりです。
・ DVD-RAMドライブ

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	DVDビデオレコーダー
品番	LQ-MD800
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

電源 : AC 100 V-240 V, 50/60 Hz
消費電流 : 0.51 A-0.28 A

 は安全項目です。

一般

記録方式 :

DVDビデオレコーディング規格準拠 (DVD-RAM)
DVDビデオ規格準拠 (DVD-R)

記録可能ディスク :

DVD-RAM 12 cm (4.7 GB/9.4 GB)
DVD-R 12 cm (4.7 GB)
for General Ver.2.0
DVD-R 12 cm (4.7 GB)
for General Ver.2.0
/4x-SPEED DVD-R Revision 1.0

記録時間 :

最大4時間 (4.7 GBディスク使用時)
XP : 約1時間、SP : 約2時間、LP : 約4時間

再生可能ディスク :

DVD-RAM 12 cm (4.7 GB/9.4 GB)
DVD-R 12 cm (4.7 GB)
for General Ver.2.0
DVD-R 12 cm (4.7 GB)
for General Ver.2.0
/4x-SPEED DVD-R Revision 1.0

動作周囲温度 : 5℃-40℃

動作相対湿度 : 10%-80% (結露無し)

外形寸法 : 214 mm (幅) × 102 mm (高さ) × 365 mm (奥行)

質量 : 4.6 kg

音声

記録圧縮方式 : Dolby Digital 2 ch 記録
リニアPCM 2 ch 記録
(XP/SPモードのみ切換可)

入力 : ライン (PHONO) × 2
基準入力 : -10 dBV, 47 kΩ, 不平衡
マイク (ミニジャック) × 1
基準入力 : -50 dBV, 3 kΩ, 不平衡

出力 : ライン (PHONO) × 2
基準出力 : -10 dBV, 600 Ω, 不平衡
モニター (PHONO) × 1
基準出力 : -10 dBV, 600 Ω, 不平衡
ヘッドホン (ステレオミニジャック) × 1
基準出力 : 最大-28 dBV (可変), 8 Ω

映像

テレビジョン方式 :

NTSC方式 (525 本, 60 フィールド)
PAL方式 (625 本, 50 フィールド)

録画圧縮方式 : MPEG2 (Hybrid VBR)

入力 :

ライン (BNC) × 1
1.0 Vp-p 75 Ω, 不平衡
S-VIDEO (4P) × 1
Y: 1.0 Vp-p 75 Ω, 不平衡
C: 0.286 Vp-p, パーストレベル, 75 Ω,
不平衡 (NTSC)
C: 0.3 Vp-p, パーストレベル, 75 Ω,
不平衡 (PAL)
DV入力 × 1
IEEE1394準拠, 4pin, (NTSC/PAL)

出力 :

ライン (BNC) × 2
1.0 Vp-p 75 Ω, 不平衡
S-VIDEO (4P) × 1
Y: 1.0 Vp-p 75 Ω, 不平衡
C: 0.286 Vp-p, パーストレベル, 75 Ω,
不平衡 (NTSC)
C: 0.3 Vp-p, パーストレベル, 75 Ω,
不平衡 (PAL)
コンポーネント (BNC) (NTSC 480p/480i) (PAL 576i)
Y: 1.0 Vp-p 75 Ω, 不平衡
Pb: 0.7 Vp-p 75 Ω, 不平衡
Pr: 0.7 Vp-p 75 Ω, 不平衡

その他の入出力端子

USB (Type-B コネクタ)
: USB Ver.1.1 (ケーブル長 : 最長3 m)
RS-232C (D-sub 9ピン)
PAUSE REMOTE (ステレオミニジャック)

レーザー定格

クラス 1 レーザー製品

波長 : 780 nm-787 nm, 654 nm-662 nm
製品外へのレーザー光の漏れは、保護機構により、
安全なレベルに制限されています。

別売品 (推奨品)

品番は 2008年8月現在のもので
品番は変更されることがあります。

■ DVD-RAMディスク

- 4.7 GB片面 (タイプ4カートリッジ) :
LM-AB120M

■ DVD-Rディスク

- 4.7 GB片面 (カートリッジなし) :
LM-RF120NW

■ DVD-RAM/PD ディスククリーナー
RP-CL750

■ DVD-RAM/PD レンズクリーナー
RP-CL720

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

